

科目名	JAZZ FUNK1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	渡辺裕子 永嶋美佳 久次亜希子 福丸朝葉 橋本知佐子
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	JAZZダンス 17年・12年・18年・9年・26年						
授業の学習 内容	ベーシックなJazzFunkダンスの内容。クラシックバレエやFunkの基礎も取り入れながら、JAZZFunkで主に使われる技を練習、習得。曲でのコンビネーションによるダンス実施。						
到達目標	正しいウォーミングアップ、ストレッチによる体作り。基本的な知識、オーディションなどにも対応できるようにスキルを身に付けていく。早くて正確な振り覚えができるようになる。曲に合わせた感情表現、踊りの魅せ方ができるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業概要説明。ウォーミングアップ解説	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	筋トレ レベルアップ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	ストレッチの強化	次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	アイソレーションを中心に。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	ウォーキング	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	フロアでセクシーに表現。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	フォーメーションで踊る①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	フォーメーションで踊る②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	フリーでのダンス強化	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	セクシーな振り付けで踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	胸部と腰をしっかり使う。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	魅せ方、表現の練習	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	テスト	復習
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習			個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	JAZZ FUNK2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	渡辺裕子 永嶋美佳 久次亜希子 福丸朝葉 橋本知佐子
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	JAZZダンス 17年・12年・18年・9年・26年						
授業の学習 内容	ベーシックなJazzFunkダンスの内容。JAZZFunkで主に使われる技を練習、習得。曲でのコンビネーションによるダンス実施。						
到達目標	正しいウォーミングアップ、ストレッチによる体作り。基本的な知識、オーディションなどにも対応できるようにスキルを身に付けていく。早くて正確な振り覚えができるようになる。曲に合わせた感情表現、踊りの魅せ方ができるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業概要説明。ウォーミングアップ解説	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	アイソレーション(胸)	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	アイソレーション(肩)	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	アイソレーション(首)	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	フロアでセクシーに表現①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	フロアでセクシーに表現②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	フォーメーションで踊る①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	フォーメーションで踊る②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	胸部と腰をしっかり使う。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	セクシーな振り付けで踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	フリーでのダンス強化①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	フリーでのダンス強化②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	テスト	
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習			個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ジャズA-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 渡辺裕子 永嶋美佳 久次亜希子 福丸朝葉 橋本知佐子
学科・コース	メディア＆テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の学習 内容	ベーシックなJazzダンスの内容。クラシックバレエの基礎も取り入れながら、JAZZで主に使われる技を練習、習得。曲でのコンビネーションによるダンス実施。					
到達目標	正しいウォーミングアップ、ストレッチによる体作り。基本的な知識、オーディションなどにも対応できるようにスキルを身に付けていく。早くて正確な振り覚えができるようになる。コンビネーションでは、曲に合わせた感情表現、踊りの魅せ方ができるようになる。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業概要説明。ウォーミングアップ解説、ピルエット練習。	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	筋トレ レベルアップ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	エクササイズの難度アップ フォンデュ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	エクササイズの難度アップ デベロッパ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	ウォーキング	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	クロスフロアもコンビネーションでやる。バットマンからピケシェネ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	クロスフロアもコンビネーションでやる。半シェネーピルエット	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	クロスフロア ソデバスクに挑戦①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	クロスフロア ソデバスクに挑戦②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	クロスフロア ランベルセに挑戦①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	クロスフロア ランベルセに挑戦②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	コンビネーションを少人数で鏡無しで踊れる	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	テスト	復習
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習			個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ジャズA-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 渡辺裕子 永嶋美佳 久次亜希子 福丸朝葉 橋本知佐子
学科・コース	メディア＆テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の学習 内容	ベーシックなJazzダンスの内容。クラシックバレエの基礎も取り入れながら、JAZZで主に使われる技を練習、習得。曲でのコンビネーションによるダンス実施。					
到達目標	正しいウォーミングアップ、ストレッチによる体作り。基本的な知識、オーディションなどにも対応できるようにスキルを身に付けていく。早くて正確な振り覚えができるようになる。コンビネーションでは、曲に合わせた感情表現、踊りの魅せ方ができるようになる。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業概要説明。ウォーミングアップ解説、ビルエツ練習。	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	筋トレ レベルアップ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	エクササイズの難度アップ フォンデュ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	エクササイズの難度アップ デベロッパ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	ウォーキング	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	クロスフロアもコンビネーションでやる。バットマンからピケシェネ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	クロスフロアもコンビネーションでやる。半シェネービルエツ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	クロスフロア ソデバスクに挑戦①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	クロスフロア ソデバスクに挑戦②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	クロスフロア ランベルセに挑戦①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	クロスフロア ランベルセに挑戦②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	コンビネーションを少人数で鏡無しで踊れる	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	テスト	
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習			個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ジャズB-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 渡辺裕子 永嶋美佳 久次亜希子 福丸朝葉 橋本知佐子
学科・コース	メディア＆テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の学習内 容	プロのダンサーになるために必要なことを取得。ストレッチ、基礎トレーニング、応用					
到達目標	もらった振り付けを正確に覚えて表現する。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチの強化	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	アイソレーションを中心に。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	プリエなどバレエの基礎	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	振り付けを覚える。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	振り付けを正確に踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	表情もつけて踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	何回踊っても間違えない。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	スローな動きで踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	手足がしっかり伸びるようにする。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	感情をこめて踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	少人数に分けて大きく踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	アップテンポのダンス	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	グルーヴとアイソレーションを大切に。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
14		講義・演習	フォーメーションで踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
15		講義・演習	総復習	テストの復習
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】		シューズ		

科目名	ジャズB-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 渡辺裕子 永嶋美佳 久次亜希子 福丸朝葉 橋本知佐子
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の学習内容	プロのダンサーになるために必要なことを取得。ストレッチ、基礎トレーニング、応用					
到達目標	もらった振り付けを正確に覚えて表現する。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチの強化	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	アイソレーションを中心に。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	セクシーに歩く練習	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	軽いコンビネーションのクロスフロア	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	腰をしっかり動かせるように	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	可愛い歩き方	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	笑顔で歩く	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	アイドルらしい振り付け	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	表情を大切に。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	フリーでのダンス強化	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	セクシーな振り付けで踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	胸部と腰をしっかり使う。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	フロアでセクシーに。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
14		講義・演習	フォーメーションで踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
15		講義・演習	総復習	テストの復習
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】		シューズ		

科目名	ジャズC-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 渡辺裕子 永嶋美佳 久次亜希子 福丸朝葉 橋本知佐子
学科・コース	メディア＆テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の 学習内容	・ジャズダンス基礎の確認、徹底 ・ダンスを通して表現の実践					
到達目標	①正しい姿勢を理解し、実践できる。 ②基礎の大切さを理解している。 ③振りを覚え、曲の意味に沿って表現しながら踊ることが出来る。					
評価方法と 基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ウォームアップの説明、ピルコット・コンビネーション	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	ウォームアップの解説 ①姿勢・コンビネーション	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	ウォームアップの解説 ②パラレルの重要性・コンビネーション	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	ウォームアップの解説 ③ルルベ・コンビネーション	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	プリエの説明、実践	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	タンデュ・デガジェの説明	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	体重移動 タンデュ→タンデュ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	片足になる パッセ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	体重移動 タンデュ→パッセ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	ロンデジャンプ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	ロンデジャンプ→ピケ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	ピルエットダブルを安定させる	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	テスト	前週の復習。次週に向けての自主練習。
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	前週の復習。次週に向けての自主練習。
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	テストの復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ジャズC-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 渡辺裕子 永嶋美佳 久次亜希子 福丸朝葉 橋本知佐子
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の 学習内容	・クロスフロアを増やしたい。 ・長いコンビネーションをする					
到達目標	①テクニックの向上 ②自分で考え、人に見せることを前提としたダンスをすることが出来る。					
評価方法と 基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ウォームアップの確認	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	筋力アップ(筋トレのレベルアップ)	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	エクササイズの難度アップ フラットバックから起きてルルベへ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	エクササイズの難度アップ 片足ブリエの強化・フォンデュ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	ウォーキングの練習①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	ウォーキングの練習②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	クロスフロア ロンデジャンプ①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	クロスフロア ランベルヤ①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	クロスフロア ロンデジャンプ②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	クロスフロア ランベルヤ②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	アームスのポジションの安定	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	コンビネーションを正しく人に振りうつしが出来る	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	フロアでセクシーに。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
14		講義・演習	フォーメーションで踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
15		講義・演習	総復習	テストの復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
時々ゴムやボールを使用				

科目名	バレエA-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 下島功佐 秋山かおる 瀬尾和香 橋本佐知子 吉村真弓
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	バレエ講師歴18年/23年/23年/26年/36年					
授業の学習 内容	バーを使つての基礎練習、バーレッスンとセンターレッスン。					
到達目標	バレエの基礎練習を通して、ダンス全般に通じ、役立つ、強い体幹、美しい姿勢、身体のポジションを手に入れる。 基本的な動きを反復練習することで、飽きずに継続する力を身につける。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	足のポジション、手のポジションを正しく作る。覚える。	授業前のストレッチと筋力トレーニング
2		講義・演習	足のポジション、手のポジションを正しく作る。覚える。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習
3		講義・演習	足1～5番のポジションでのプリエ。1番5番からのタンジュ、ジュテ。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
4		講義・演習	足1～5番でのプリエ。1番5番からのタンジュ、ジュテ。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
5		講義・演習	足の指の使い方。各ポジションでのルルベの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
6		講義・演習	足の指の使い方。各ポジションでのルルベの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
7		講義・演習	前横後ろのタンジュを確認し、そのポジションを通してロンドウジャンプする練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
8		講義・演習	バーを使って、スス、パッセの作り方を学ぶ。スス、パッセでバランスをとる。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
9		講義・演習	バーを使って、シャンジュマン、エシャッペの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
10		講義・演習	バーを使って、シャンジュマン、エシャッペの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習
11		講義・演習	タンジュ、ジュテを理解した上で、グランパットマンの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
12		講義・演習	タンジュ、ジュテを理解した上で、グランパットマンの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
13		講義・演習	試験課題振付	復習
14		講義・演習	試験	実施
15		講義・演習	試験の反省と復習。	復習・課題出し
準備学習 時間外学習			クラシック音楽に触れる機会を作る。クラシックバレエの鑑賞。	
【使用教科書・教材・参考書】				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷・東京ダンス・俳優＆舞台芸術専門学校

科目名	バレエA-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	下島功佐 秋山かおる 瀬尾和香 橋本佐知子 吉村真弓
学科・コース	メディア＆テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	バレエ講師歴18年/23年/23年/26年/36年						
授業の学習 内容	バーを使っの基礎練習、バーレッスンとセンターレッスン。						
到達目標	バレエの基礎練習を通して、ダンス全般に通じ、役立つ、強い体幹、美しい姿勢、身体のポジションを手に入れる。基本的な動きを反復練習することで、飽きずに継続する力を身につける。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	足のポジション、手のポジションを正しく作る。覚える。	授業前のストレッチと筋力トレーニング	
2		講義・演習	足のポジション、手のポジションを正しく作る。覚える。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習	
3		講義・演習	足1～5番のポジションでのプリエ。1番5番からのタンジュ、ジュテ。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。	
4		講義・演習	足1～5番でのプリエ。1番5番からのタンジュ、ジュテ。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。	
5		講義・演習	足の指の使い方。各ポジションでのルルベの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。	
6		講義・演習	足の指の使い方。各ポジションでのルルベの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。	
7		講義・演習	前後後ろのタンジュを確認し、そのポジションをって Rond de Jambes する練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。	
8		講義・演習	バーを使って、スス、パッセの作り方を学ぶ。スス、パッセでバランスをとる。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。	
9		講義・演習	バーを使って、シャンジュマン、エシャッペの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。	
10		講義・演習	バーを使って、シャンジュマン、エシャッペの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習	
11		講義・演習	タンジュ、ジュテを理解した上で、グランバットマンの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。	
12		講義・演習	タンジュ、ジュテを理解した上で、グランバットマンの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。	
13		講義・演習	試験課題振付	復習	
14		講義・演習	試験	実施	
15		講義・演習	試験の反省と復習。	復習・課題出し	
準備学習 時間外学習			クラシック音楽に触れる機会を作る。クラシックバレエの鑑賞。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	バレエB-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 下島功佐 秋山かおる 瀬尾和香 橋本佐知子 吉村真弓
学科・コース	メディア＆テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	バレエ講師歴18年/23年/23年/26年/36年					
授業の学習内 容	エクササイズ、コンビネーション、クールダウン 全て呼吸を使って身体を動かし踊るための身体を作る。					
到達目標	・呼吸と連動して動けるようになる。 ・筋力と柔軟性を上げる。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					
授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	呼吸を意識する	授業前のストレッチと筋力トレーニング		
2		講義・演習	身体のアライメントを理解する	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習		
3		講義・演習	エクササイズ1つ1つ、どこを使うかを考えて動かす。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。		
4		講義・演習	筋感覚だけに集中(形に捉われない)	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。		
5		講義・演習	筋力と柔軟性を同時に意識する。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。		
6		講義・演習	座位、ストレッチ(股関節周り意識)	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。		
7		講義・演習	体幹トレーニング(呼吸を伴う筋トレの中で)	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。		
8		講義・演習	アイソレーション(流されず部分部分を丁寧に)	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。		
9		講義・演習	ジャンプ足上げ(効果的に行えるようにする)	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。		
10		講義・演習	ターン(重心と軸を探る)	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習		
11		講義・演習	総括(エクササイズも振りも全て呼吸)	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。		
12		講義・演習	試験(見られている意識の中で発揮できる)	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。		
13		講義・演習	今までの稽古の留意点を全て意識する。	復習		
14		講義・演習	試験	実施		
15		講義・演習	今までの稽古の留意点を全て意識する。	復習・課題出し		
準備学習 時間外学習			クラシック音楽に触れる機会を作る。クラシックバレエの鑑賞。			
【使用教科書・教材・参考書】						

科目名	バレエB-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 下島功佐 秋山かおる 瀬尾和香 橋本佐知子 吉村真弓
学科・コース	メディア＆テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	バレエ講師歴18年/23年/23年/26年/36年					
授業の学習内 容	ストレッチ、バー、センター 常に呼吸を意識し、体重を感じるようにする。					
到達目標	バレエを通して、重心と軸を感じられるようになり、他のダンスにも応用できるようにする。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					
授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	呼吸を意識しストレッチから	授業前のストレッチと筋力トレーニング		
2		講義・演習	アライメントを理解し、立ち方を学ぶ。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習		
3		講義・演習	プリエ(関節を固めない)	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。		
4		講義・演習	プリエタンデュ(体重を感じることで重心を知る)	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。		
5		講義・演習	体重移動を身につける。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。		
6		講義・演習	正しいターンアウト	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。		
7		講義・演習	ストレッチ、バー、センターの流れを学ぶ	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。		
8		講義・演習	方向(8つの方向)を学ぶ。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。		
9		講義・演習	ポールドブラ(基本のアームズ)	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。		
10		講義・演習	エポールマン	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習		
11		講義・演習	エポールマン②	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。		
12		講義・演習	身体を総括的に意識し動かせるように。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。		
13		講義・演習	今までの稽古の留意点を全て意識する。	復習		
14		講義・演習	試験	実施		
15		講義・演習	今までの稽古の留意点を全て意識する。	復習・課題出し		
準備学習 時間外学習			クラシック音楽に触れる機会を作る。クラシックバレエの鑑賞。			
【使用教科書・教材・参考書】						

科目名	バレエC-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	下島功佐 秋山かおる 瀬尾和香 橋本佐知子 吉村真弓
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	バレエ講師歴18年/23年/23年/26年/36年						
授業の学習内 容	・クラシックバレエの技術を身につける。 ・舞台人としての礼儀を学ぶ。						
到達目標	・プロとしてステージに通用するスキルを身につける。 ・オープンクラスの中級レベルが通用する技術・レベル。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	足のポジション、手のポジションを正しく作る。覚える。	授業前のストレッチと筋力トレーニング
2		講義・演習	足のポジション、手のポジションを正しく作る。覚える。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習
3		講義・演習	足1～5番のポジションでのプリエ。1番5番からのタンジュ、ジュテ。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
4		講義・演習	足1～5番でのプリエ。1番5番からのタンジュ、ジュテ。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
5		講義・演習	足の指の使い方。各ポジションでのルルベの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
6		講義・演習	足の指の使い方。各ポジションでのルルベの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
7		講義・演習	前横後ろのタンジュを確認し、そのポジションを通してロンドウジャンプする練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
8		講義・演習	バーを使って、スス、パッセの作り方を学ぶ。スス、パッセでバランスをとる。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
9		講義・演習	バーを使って、シャンジュマン、エシャッペの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
10		講義・演習	バーを使って、シャンジュマン、エシャッペの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習
11		講義・演習	タンジュ、ジュテを理解した上で、グランバットマンの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
12		講義・演習	タンジュ、ジュテを理解した上で、グランバットマンの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
13		講義・演習	試験課題振付	復習
14		講義・演習	試験	実施
15		講義・演習	試験の反省と復習。	復習・課題出し
準備学習 時間外学習			クラシック音楽に触れる機会を作る。クラシックバレエの鑑賞。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	バレエC-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	下島功佐 秋山かおる 瀬尾和香 橋本佐知子 吉村真弓
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	バレエ講師歴18年/23年/23年/26年/36年						
授業の学習内 容	・クラシックバレエの技術を身につける。 ・舞台人としての礼儀を学ぶ。						
到達目標	・プロとしてステージに通用するスキルを身につける。 ・オープンクラスの中級レベルが通用する技術・レベル。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	足のポジション、手のポジションを正しく作る。覚える。	授業前のストレッチと筋力トレーニング
2		講義・演習	足のポジション、手のポジションを正しく作る。覚える。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習
3		講義・演習	足1～5番のポジションでのプリエ。1番5番からのタンジュ、ジュテ。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
4		講義・演習	足1～5番でのプリエ。1番5番からのタンジュ、ジュテ。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
5		講義・演習	足の指の使い方。各ポジションでのルルベの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
6		講義・演習	足の指の使い方。各ポジションでのルルベの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
7		講義・演習	前後後ろのタンジュを確認し、そのポジションを通してロンドゥジャンプする練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
8		講義・演習	バーを使って、スス、パッセの作り方を学ぶ。スス、パッセでバランスをとる。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
9		講義・演習	バーを使って、シャンジュマン、エシャッペの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
10		講義・演習	バーを使って、シャンジュマン、エシャッペの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習
11		講義・演習	タンジュ、ジュテを理解した上で、グランバットマンの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
12		講義・演習	タンジュ、ジュテを理解した上で、グランバットマンの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
13		講義・演習	試験課題振付	復習
14		講義・演習	試験	実施
15		講義・演習	試験の反省と復習。	復習・課題出し
準備学習 時間外学習			クラシック音楽に触れる機会を作る。クラシックバレエの鑑賞。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP A-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田中英輔 相沢圭祐
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年						
授業の学習 内容	基礎となる身体の使い方や体力作りとステップ、表現トレーニング						
到達目標	自分の体の使い方を知り、タメや表現力を身に着ける						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	HIPHOP基礎	各自授業内容を復習
2		講義・演習	HIPHOP応用(ステップの変化)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	HIPHOP応用(リズムの変化)	各自授業内容を復習
4		講義・演習	フリーで踊ろう	各自授業内容を復習
5		講義・演習	ゲーム形式で踊ろう	各自授業内容を復習
6		講義・演習	オリジナルムーブを作ろう	各自授業内容を復習
7		講義・演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
8		講義・演習	HIPHOP基礎～応用	各自授業内容を復習
9		講義・演習	模擬バトル	各自授業内容を復習
10		講義・演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		講義・演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		講義・演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		試験・演習	試験	各自授業内容を復習
14		試験・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		試験・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考書】				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷・東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校

科目名	HIPHOP A-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田中英輔 相沢圭祐
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年						
授業の学習 内容	基礎となる身体の使い方や体力作りとステップ、表現トレーニング						
到達目標	自分の体の使い方を知り、タメや表現力を身に着ける						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	HIPHOP基礎	各自授業内容を復習
2		講義・演習	HIPHOP応用(ステップの変化)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	HIPHOP応用(リズムの変化)	各自授業内容を復習
4		講義・演習	フリーで踊ろう	各自授業内容を復習
5		講義・演習	ゲーム形式で踊ろう	各自授業内容を復習
6		講義・演習	オリジナルムーブを作ろう	各自授業内容を復習
7		講義・演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
8		講義・演習	HIPHOP基礎～応用	各自授業内容を復習
9		講義・演習	模擬バトル	各自授業内容を復習
10		講義・演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		講義・演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		講義・演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		試験・演習	試験	各自授業内容を復習
14		試験・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		試験・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考書】				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷・東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校

科目名	HIPHOP B-1		必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田中英 輔相沢 圭祐
学科・コース	メディア &テクノロジー科 昼間部一		授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年							
授業の学習内 容	①Hip Hopのカルチャーの基本がオールドスクールにあるので、まずそのリズムの動きを知ることが大切。 ②全てのストリートダンスに繋がる原点。 ③社会人として常識のある人になって欲しい。そこからダンス界に羽ばたいて欲しい。							
到達目標	①1年生の間に基本的な身体作り、リズムコントロールが出来るようにする ②基礎トレーニングの実施。自宅でも出来るトレーニングのレクチャー ③聞く曲が偏らないよう色々なジャンルを聞けるようになる。またレッスンでも使用する。 ④言葉使いの徹底、挨拶							
評価方法と基準	実技テストによる採点							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	HIPHOP基礎		各自授業内容を復習			
2		演習	HIPHOP応用(ステップの変化)		各自授業内容を復習			
3		演習	HIPHOP応用(リズムの変化)		各自授業内容を復習			
4		演習	フリーで踊ろう		各自授業内容を復習			
5		演習	ゲーム形式で踊ろう		各自授業内容を復習			
6		演習	オリジナルムーブを作ろう		各自授業内容を復習			
7		演習	ここまでのまとめ		各自授業内容を復習			
8		演習	HIPHOP基礎～応用		各自授業内容を復習			
9		演習	模擬バトル		各自授業内容を復習			
10		演習	試験の課題を提示		各自授業内容を復習			
11		演習	試験に向けての指導		各自授業内容を復習			
12		演習	プレ試験		各自授業内容を復習			
13		演習	試験		各自授業内容を復習			
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出			
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出			
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。					
【使用教科書・教材・参考書】								

科目名	HIPHOP B-2		必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田中英 輔相沢 圭祐
学科・コース	メディア &テクノロジー科 昼間部一		授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年							
授業の学習内 容	①Hip Hopのカルチャーの基本がオールドスクールにあるので、まずそのリズムの動きを知ることが大切。 ②全てのストリートダンスに繋がる原点。 ③社会人として常識のある人になって欲しい。そこからダンス界に羽ばたいて欲しい。							
到達目標	①1年生の間に基本的な身体作り、リズムコントロールが出来るようにする ②基礎トレーニングの実施。自宅でも出来るトレーニングのレクチャー ③聞く曲が偏らないよう色々なジャンルを聞けるようになる。またレッスンでも使用する。 ④言葉使いの徹底、挨拶							
評価方法と基準	実技テストによる採点							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	HIPHOP基礎		各自授業内容を復習			
2		演習	HIPHOP応用(ステップの変化)		各自授業内容を復習			
3		演習	HIPHOP応用(リズムの変化)		各自授業内容を復習			
4		演習	フリーで踊ろう		各自授業内容を復習			
5		演習	ゲーム形式で踊ろう		各自授業内容を復習			
6		演習	オリジナルムーブを作ろう		各自授業内容を復習			
7		演習	ここまでのまとめ		各自授業内容を復習			
8		演習	HIPHOP基礎～応用		各自授業内容を復習			
9		演習	模擬バトル		各自授業内容を復習			
10		演習	試験の課題を提示		各自授業内容を復習			
11		演習	試験に向けての指導		各自授業内容を復習			
12		演習	プレ試験		各自授業内容を復習			
13		演習	試験		各自授業内容を復習			
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出			
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出			
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。					
【使用教科書・教材・参考書】								

科目名	HIPHOP C-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田中英 輔相沢 圭祐
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年						
授業の学習 内容	・基礎力の向上。 ・「音を聞くこと。表現力。覚える力。」を振付の中で養う。 ・ストレッチ→基礎→振付(基本的な授業の流れ。)						
到達目標	・カウントを音楽に変換し、踊れるようになる。 ・振付を自分の踊りに変換して、踊ることができる。 ・素早く振付を覚える。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	HIPHOP基礎	各自授業内容を復習
2		演習	HIPHOP応用(ステップの変化)	各自授業内容を復習
3		演習	HIPHOP応用(リズムの変化)	各自授業内容を復習
4		演習	フリーで踊ろう	各自授業内容を復習
5		演習	ゲーム形式で踊ろう	各自授業内容を復習
6		演習	オリジナルムーブを作ろう	各自授業内容を復習
7		演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
8		演習	HIPHOP基礎～応用	各自授業内容を復習
9		演習	模擬バトル	各自授業内容を復習
10		演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		演習	試験	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP C-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田中英 輔相沢 圭祐
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年						
授業の学習 内容	・基礎力の向上。 ・「音を聞くこと。表現力。覚える力。」を振付の中で養う。 ・ストレッチ→基礎→振付(基本的な授業の流れ。)						
到達目標	・カウントを音楽に変換し、踊れるようになる。 ・振付を自分の踊りに変換して、踊ることができる。 ・素早く振付を覚える。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	HIPHOP基礎	各自授業内容を復習
2		演習	HIPHOP応用(ステップの変化)	各自授業内容を復習
3		演習	HIPHOP応用(リズムの変化)	各自授業内容を復習
4		演習	フリーで踊ろう	各自授業内容を復習
5		演習	ゲーム形式で踊ろう	各自授業内容を復習
6		演習	オリジナルムーブを作ろう	各自授業内容を復習
7		演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
8		演習	HIPHOP基礎～応用	各自授業内容を復習
9		演習	模擬バトル	各自授業内容を復習
10		演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		演習	試験	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP D-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田中英 輔相沢 圭祐
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部ー	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年						
授業の学習 内容	・基礎力の向上。 ・リズム感の向上と細やかな表現力向上						
到達目標	・カウントを音楽に変換し、踊れるようになる。 ・表現力を身につける。 ・素早く振付を覚える。 ・フリーに対応できるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	HIPHOP基礎	各自授業内容を復習
2		演習	HIPHOP応用(ステップの変化)	各自授業内容を復習
3		演習	HIPHOP応用(リズムの変化)	各自授業内容を復習
4		演習	フリーで踊ろう	各自授業内容を復習
5		演習	ゲーム形式で踊ろう	各自授業内容を復習
6		演習	オリジナルムーブを作ろう	各自授業内容を復習
7		演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
8		演習	HIPHOP基礎～応用	各自授業内容を復習
9		演習	模擬バトル	各自授業内容を復習
10		演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		演習	試験	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP D-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田中英 輔相沢 圭祐
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部ー	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年						
授業の学習 内容	・基礎力の向上。 ・リズム感の向上と細やかな表現力向上						
到達目標	・カウントを音楽に変換し、踊れるようになる。 ・表現力を身につける。 ・素早く振付を覚える。 ・フリーに対応できるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	HIPHOP基礎	各自授業内容を復習
2		演習	HIPHOP応用(ステップの変化)	各自授業内容を復習
3		演習	HIPHOP応用(リズムの変化)	各自授業内容を復習
4		演習	フリーで踊ろう	各自授業内容を復習
5		演習	ゲーム形式で踊ろう	各自授業内容を復習
6		演習	オリジナルムーブを作ろう	各自授業内容を復習
7		演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
8		演習	HIPHOP基礎～応用	各自授業内容を復習
9		演習	模擬バトル	各自授業内容を復習
10		演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		演習	試験	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP E-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田中英 輔相沢 圭祐
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年						
授業の学習 内容	・基礎力の向上。 ・リズム感の向上と細やかな表現力向上						
到達目標	・カウントを音楽に変換し、踊れるようになる。 ・表現力を身につける。 ・素早く振付を覚える。 ・フリーに対応できるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	HIPHOP基礎	各自授業内容を復習
2		演習	HIPHOP応用(ステップの変化)	各自授業内容を復習
3		演習	HIPHOP応用(リズムの変化)	各自授業内容を復習
4		演習	フリーで踊ろう	各自授業内容を復習
5		演習	ゲーム形式で踊ろう	各自授業内容を復習
6		演習	オリジナルムーブを作ろう	各自授業内容を復習
7		演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
8		演習	HIPHOP基礎～応用	各自授業内容を復習
9		演習	模擬バトル	各自授業内容を復習
10		演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		演習	試験	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP E-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田中英 輔相沢 圭祐
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年						
授業の学習 内容	・基礎力の向上。 ・リズム感の向上と細やかな表現力向上						
到達目標	・カウントを音楽に変換し、踊れるようになる。 ・表現力を身につける。 ・素早く振付を覚える。 ・フリーに対応できるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	HIPHOP基礎	各自授業内容を復習
2		演習	HIPHOP応用(ステップの変化)	各自授業内容を復習
3		演習	HIPHOP応用(リズムの変化)	各自授業内容を復習
4		演習	フリーで踊ろう	各自授業内容を復習
5		演習	ゲーム形式で踊ろう	各自授業内容を復習
6		演習	オリジナルムーブを作ろう	各自授業内容を復習
7		演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
8		演習	HIPHOP基礎～応用	各自授業内容を復習
9		演習	模擬バトル	各自授業内容を復習
10		演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		演習	試験	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Freestyle A-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩崎浩太郎 木本雄
学科・コース	メディア＆テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ミュージカル・ライブ等バックダンサー、Freestyle講師歴10年/12年						
授業の学習内 容	「基礎体力の向上、怪我をしない身体作り、身体のパーツの使い方の研究」 「Freestyleというジャンルを通して魅せ方も意識できるようにしていきたい。」 「毎週のレッスンの中でストレッチ、筋トレ、アイソレーションをビジュアルキューイング、バーバルキューイングにて しっかり指導を行う。」						
到達目標	「1.挨拶やスタジオの使い方などレッスンを受ける姿勢を理解し、実行できる。2.怪我をしない身体作りを理解でき る。3.身体のパーツの使い方を理解し使える。」						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	演習を受ける姿勢、ストレッチの仕方を理解する。	レッスン後のアフターケア
2		講義・演習	インナーマッスルの必要性を理解する。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
3		講義・演習	アイソレーション、上半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
4		講義・演習	修学旅行	前回の復習・レッスン後のアフターケア
5		講義・演習	アイソレーション、下半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
6		講義・演習	アイソレーション、複数のパーツを同時に により複雑な動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
7		講義・演習	リズムトレーニング、アイソレをリズムに 合わせて使う研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
8		講義・演習	上記の内容を生かした振りの研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
9		講義・演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
10		講義・演習	テストに向けた振りをより深く落とし込む。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
11		講義・演習	テスト	前回の復習・レッスン後のアフターケア
12		講義・演習	前期試験	前期の授業内容を確認しておく
13		講義・演習	授業のまとめ	理解できていないこと、質問等をまとめて
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル体幹理論、コードプリント、発声に関するオリジナルプリント、既存の楽曲の歌詞と楽譜とハーモニー譜				
東京スクールオブミュージック専門学校渋谷・東京ダンス・俳優＆舞台芸術専門学校				

科目名	Freestyle A-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩崎浩太郎 木本雄
学科・コース	メディア＆テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ミュージカル・ライブ等バックダンサー、Freestyle講師歴10年/12年						
授業の学習内 容	「基礎体力の向上、怪我をしない身体作り、身体のパーツの使い方の研究」 「Freestyleというジャンルを通して魅せ方も意識できるようにしていきたい。」 「毎週のレッスンの中でストレッチ、筋トレ、アイソレーションをビジュアルキューイング、バーバルキューイングにて しっかり指導を行う。」						
到達目標	「1.挨拶やスタジオの使い方などレッスンを受ける姿勢を理解し、実行できる。2.怪我をしない身体作りを理解でき る。3.身体のパーツの使い方を理解し使える。」						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	演習を受ける姿勢、ストレッチの仕方を理解する。	レッスン後のアフターケア
2		講義・演習	インナーマッスルの必要性を理解する。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
3		講義・演習	アイソレーション、上半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
4		講義・演習	修学旅行	前回の復習・レッスン後のアフターケア
5		講義・演習	アイソレーション、下半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
6		講義・演習	アイソレーション、複数のパーツを同時により複雑な動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
7		講義・演習	リズムトレーニング、アイソレをリズムに合わせて使う研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
8		講義・演習	上記の内容を生かした振りの研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
9		講義・演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
10		講義・演習	テストに向けた振りをより深く落とし込む。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
11		講義・演習	テスト	前回の復習・レッスン後のアフターケア
12		講義・演習	後期試験	後期の授業内容を確認しておく
13		講義・演習	授業のまとめ	理解できていないこと、質問等をまとめておく
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル体幹理論、コードプリント、発声に関するオリジナルプリント、既存の楽曲の歌詞と楽譜とハーモニー譜				
東京スクールオブミュージック専門学校渋谷・東京ダンス・俳優＆舞台芸術専門学校				

科目名	Freestyle B-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩崎浩太郎 木本雄
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ミュージカル・ライブ等バックダンサー、Freestyle講師歴10年/12年						
授業の学習内 容	「基礎体力の向上、怪我をしない身体作り、身体のパーツの使い方の研究」 「Freestyleというジャンルを通して魅せ方も意識できるようにしていきたい。」 「毎週のレッスンの中でストレッチ、筋トレ、アイソレーションをビジュアルキューイング、バーバルキューイングにて しっかり指導を行う。」						
到達目標	「1.挨拶やスタジオの使い方などレッスンを受ける姿勢を理解し、実行できる。2.怪我をしない身体作りを理解でき る。3.身体のパーツの使い方を理解し使える。」						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	演習を受ける姿勢、ストレッチの仕方を理解する。	レッスン後のアフターケア
2		講義・演習	インナーマッスルの必要性を理解する。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
3		講義・演習	アイソレーション、上半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
4		講義・演習	修学旅行	前回の復習・レッスン後のアフターケア
5		講義・演習	アイソレーション、下半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
6		講義・演習	アイソレーション、複数のパーツを同時により複雑な動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
7		講義・演習	リズムトレーニング、アイソレをリズムに合わせて使う研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
8		講義・演習	上記の内容を生かした振りの研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
9		講義・演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
10		講義・演習	テストに向けた振りをより深く落とし込む。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
11		講義・演習	テスト	前回の復習・レッスン後のアフターケア
12		講義・演習	前期試験	前期の授業内容を確認しておく
13		講義・演習	授業のまとめ	理解できていないこと、質問等をまとめておく
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル体幹理論、コードプリント、発声に関するオリジナルプリント、既存の楽曲の歌詞と楽譜とハーモニー譜				
東京スクールオブミュージック専門学校渋谷・東京ダンス・俳優＆舞台芸術専門学校				

科目名	Freestyle B-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩崎浩太郎 木本雄
学科・コース	メディア＆テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ミュージカル・ライブ等バックダンサー、Freestyle講師歴10年/12年						
授業の学習内 容	「基礎体力の向上、怪我をしない身体作り、身体のパーツの使い方の研究」 「Freestyleというジャンルを通して魅せ方も意識できるようにしていきたい。」 「毎週のレッスンの中でストレッチ、筋トレ、アイソレーションをビジュアルキューイング、バーバルキューイングにて しっかり指導を行う。」						
到達目標	「1.挨拶やスタジオの使い方などレッスンを受ける姿勢を理解し、実行できる。2.怪我をしない身体作りを理解でき る。3.身体のパーツの使い方を理解し使える。」						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	演習を受ける姿勢、ストレッチの仕方を理解する。	レッスン後のアフターケア
2		講義・演習	インナーマッスルの必要性を理解する。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
3		講義・演習	アイソレーション、上半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
4		講義・演習	修学旅行	前回の復習・レッスン後のアフターケア
5		講義・演習	アイソレーション、下半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
6		講義・演習	アイソレーション、複数のパーツを同時により複雑な動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
7		講義・演習	リズムトレーニング、アイソレをリズムに合わせて使う研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
8		講義・演習	上記の内容を生かした振りの研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
9		講義・演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
10		講義・演習	テストに向けた振りをより深く落とし込む。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
11		講義・演習	テスト	前回の復習・レッスン後のアフターケア
12		講義・演習	後期試験	後期の授業内容を確認しておく
13		講義・演習	授業のまとめ	理解できていないこと、質問等をまとめておく
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル体幹理論、コードプリント、発声に関するオリジナルプリント、既存の楽曲の歌詞と楽譜とハーモニー譜				
東京スクールオブミュージック専門学校渋谷・東京ダンス・俳優＆舞台芸術専門学校				

科目名	コンテンポラリー1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	能美健志
		授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一						
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師・振付家・ダンサー 経験年数30年						
授業の学習 内容	体の中心(軸)と体幹の筋肉を理解してアカデミックな動きに繋げる。 (ダンスで大事なものは正しい姿勢を理解すればケガの防止になります。)						
到達目標	体幹軸を習得する事で、アカデミックな動きに対応出来、正しい骨と筋肉の使い方を理解できる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	PART2ストレッチ、ムーブメント①、フロアーテクニク・ジャンプ①	ストレッチ等
2		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント②、フロアーテクニク・ジャンプ②	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
3		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント③、フロアーテクニク・ジャンプ③	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
4		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント④、フロアーテクニク・ジャンプ④	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
5		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑤、フロアーテクニク・ジャンプ⑤	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
6		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑥、フロアーテクニク・ジャンプ⑥	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
7		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑦、フロアーテクニク・ジャンプ⑦	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
8		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑧、フロアーテクニク・ジャンプ⑧	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
9		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑨、フロアーテクニク・ジャンプ⑨	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
10		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑩、フロアーテクニク・ジャンプ⑩	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
11		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑪、フロアーテクニク・ジャンプ⑪	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
12		講義・演習	成長のプロセス講義(日程変更)	筆記用具持参
13		講義・演習	実技試験	試験結果の反省と今後の対策
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習			常に自分が目指すための舞台観劇をする。ネットなどでのオーディション情報をチェックする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンテンポラリー2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	能美健 志
		授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
学科・コース	メディア &テクノロジー科 昼間部一						
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師・振付家・ダンサー 経験年数30年						
授業の学習 内容	コンテンポラリーダンスの基礎(ポジション、ダンスクラシック)の理解。姿勢、筋肉の使い方を学ぶ。 (コンテンポラリーダンスは、高い柔軟性と強い体幹が大切です。言い換えると、どんな動きやダンス にも通用する身体が必要という事になります。最初は、ポジション、ムーブメントなど分からない事ば かりですが、継続することでダンサーの身体になっていきます。)						
到達目標	初歩的な身体構造の理解。正しい姿勢、筋肉の使い方、動き方の習得。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	PART1ストレッチ、ムーブメント①、フロアーテクニク・ジャンプ①	ストレッチ等
2		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント②、フロアーテクニク・ジャンプ②	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
3		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント③、フロアーテクニク・ジャンプ③	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
4		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント④、フロアーテクニク・ジャンプ④	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
5		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑤、フロアーテクニク・ジャンプ⑤	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
6		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑥、フロアーテクニク・ジャンプ⑥	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
7		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑦、フロアーテクニク・ジャンプ⑦	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
8		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑧、フロアーテクニク・ジャンプ⑧	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
9		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑨、フロアーテクニク・ジャンプ⑨	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
10		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑩、フロアーテクニク・ジャンプ⑩	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
11		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑪、フロアーテクニク・ジャンプ⑪	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
12		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑫、フロアーテクニク・ジャンプ⑫	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
13		講義・演習	実技試験	試験結果の反省と今後の対策
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習			常に自分が目指すための舞台観劇をする。ネットなどでのオーディション情報をチェックする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テーマパークA-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	竹内ゆかり 南山光徳
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス講師歴15年						
授業の学習 内容	クラシックバレエを基礎としたアイソレーションを繰り返し行い、基礎を身につける。 身体の柔軟性を上げるためのストレッチ。 ターン、ジャンプなどの基本的なテクニック向上のためのクロスフロア。						
到達目標	基礎練習の積み重ねによって、しっかりとしたダンス能力を身につける。 プロの世界でも通用するような基礎となるダンススキル習得を目指す。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	アイソレーションを覚える	授業内容を自主練習
2		講義・演習	身体の使い方を学ぶ	授業内容を自主練習
3		講義・演習	アームスの正しいポジションを学ぶ	授業内容を自主練習
4		講義・演習	ストレッチのやり方を学ぶ	授業内容を自主練習
5		講義・演習	バレエポジションを覚える	授業内容を自主練習
6		講義・演習	身体の軸の作り方を学ぶ	授業内容を自主練習
7		講義・演習	様々なターンの説明	授業内容を自主練習
8		講義・演習	ターンをきれいに回る	授業内容を自主練習
9		講義・演習	様々なジャンプの説明	授業内容を自主練習
10		講義・演習	ジャンプを正しく飛ぶ	授業内容を自主練習
11		講義・演習	ターンとジャンプの組み合わせ	授業内容を自主練習
12		講義・演習	クロスフロアを行う	授業内容を自主練習
13		講義・演習	今までの授業内容のテストを行う	授業内容を自主練習
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習			常に自分が目指すための舞台観劇をする。ネットなどでのオーディション情報をチェックする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テーマパークA-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	竹内ゆかり 南山光徳
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス講師歴15年						
授業の学習 内容	前期で行ったテクニックの練習を引き続き行う。 振りうつしをカウントで行い、振り覚えのスピードを上げる練習後、 音楽に合わせて踊る。						
到達目標	リズムをしっかりと感じ、個性豊かな創造性を身につける。 プロの世界でも通用するようなダンススキルを習得できることを 目的とする。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	アイソレーションを覚える	授業内容を自主練習
2		講義・演習	苦手なテクニックを自覚し練習	授業内容を自主練習
3		講義・演習	ターン、ジャンプなど確認	授業内容を自主練習
4		講義・演習	振り付けを覚える	授業内容を自主練習
5		講義・演習	振りの中でのテクニックの応用	授業内容を自主練習
6		講義・演習	振りの中での表現力の向上	授業内容を自主練習
7		講義・演習	振り覚えのスピードを上げる	授業内容を自主練習
8		講義・演習	振りの中での表情をつける	授業内容を自主練習
9		講義・演習	より高度な振りを覚える	授業内容を自主練習
10		講義・演習	舞台などでの魅せ方	授業内容を自主練習
11		講義・演習	テクニックの向上練習	授業内容を自主練習
12		講義・演習	集中力の作り方	授業内容を自主練習
13		講義・演習	オーディションでのメンタル	授業内容を自主練習
14		講義・演習	長めの振りでテスト	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習			常に自分が目指すための舞台観劇をする。ネットなどでのオーディション情報をチェックする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テーマパークB-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	竹内ゆかり 南山光徳
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス講師歴15年						
授業の学習 内容	クラシックバレエを基礎としたアイソレーションを繰り返し行い、基礎を身につける。 身体の柔軟性を上げるためのストレッチ。 ターン、ジャンプなどの基本的なテクニック向上のためのクロスフロア。						
到達目標	基礎練習の積み重ねによって、しっかりとしたダンス能力を身につける。 プロの世界でも通用するような基礎となるダンススキル習得を目指す。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	アイソレーションを覚える	授業内容を自主練習
2		講義・演習	身体の使い方を学ぶ	授業内容を自主練習
3		講義・演習	アームスの正しいポジションを学ぶ	授業内容を自主練習
4		講義・演習	ストレッチのやり方を学ぶ	授業内容を自主練習
5		講義・演習	バレエポジションを覚える	授業内容を自主練習
6		講義・演習	身体の軸の作り方を学ぶ	授業内容を自主練習
7		講義・演習	様々なターンの説明	授業内容を自主練習
8		講義・演習	ターンをきれいに回る	授業内容を自主練習
9		講義・演習	様々なジャンプの説明	授業内容を自主練習
10		講義・演習	ジャンプを正しく飛ぶ	授業内容を自主練習
11		講義・演習	ターンとジャンプの組み合わせ	授業内容を自主練習
12		講義・演習	クロスフロアを行う	授業内容を自主練習
13		講義・演習	今までの授業内容のテストを行う	授業内容を自主練習
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習			常に自分が目指すための舞台観劇をする。ネットなどでのオーディション情報をチェックする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テーマパークB-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	竹内ゆかり 南山光徳
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス講師歴15年						
授業の学習 内容	前期で行ったテクニックの練習を引き続き行う。 振りうつしをカウントで行い、振り覚えのスピードを上げる練習後、 音楽に合わせて踊る。						
到達目標	リズムをしっかりと感じ、個性豊かな創造性を身につける。 プロの世界でも通用するようなダンススキルを習得できることを 目的とする。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	アイソレーションを覚える	授業内容を自主練習
2		講義・演習	苦手なテクニックを自覚し練習	授業内容を自主練習
3		講義・演習	ターン、ジャンプなど確認	授業内容を自主練習
4		講義・演習	振り付けを覚える	授業内容を自主練習
5		講義・演習	振りの中でのテクニックの応用	授業内容を自主練習
6		講義・演習	振りの中での表現力の向上	授業内容を自主練習
7		講義・演習	振り覚えのスピードを上げる	授業内容を自主練習
8		講義・演習	振りの中での表情をつける	授業内容を自主練習
9		講義・演習	より高度な振りを覚える	授業内容を自主練習
10		講義・演習	舞台などでの魅せ方	授業内容を自主練習
11		講義・演習	テクニックの向上練習	授業内容を自主練習
12		講義・演習	集中力の作り方	授業内容を自主練習
13		講義・演習	オーディションでのメンタル	授業内容を自主練習
14		講義・演習	長めの振りでテスト	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習			常に自分が目指すための舞台観劇をする。ネットなどでのオーディション情報をチェックする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テーマパークC-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	竹内ゆかり 南山光徳
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス講師歴15年						
授業の学習 内容	クラシックバレエを基礎としたアイソレーションを繰り返し行い、基礎を身につける。 身体の柔軟性を上げるためのストレッチ。 ターン、ジャンプなどの基本的なテクニック向上のためのクロスフロア。 振り付けを行いカウントで覚えて、その後音楽で踊る。						
到達目標	基礎練習の積み重ねによって、しっかりとしたダンス能力を身につける。 プロの世界でも通用するような基礎となるダンススキル習得を目指す。 オーディション合格に向けて振り覚えのスピードを上げる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	振り付けを覚える	授業内容を自主練習
2		講義・演習	覚えた振りで表現の練習	授業内容を自主練習
3		講義・演習	振りの正しいポジションを確認	授業内容を自主練習
4		講義・演習	新しい振り付けを覚える	授業内容を自主練習
5		講義・演習	それぞれの個性をいかして踊る	授業内容を自主練習
6		講義・演習	それぞれの苦手な所を練習	授業内容を自主練習
7		講義・演習	様々なパターンの振りを覚える	授業内容を自主練習
8		講義・演習	振りで全体的に緩急をつける	授業内容を自主練習
9		講義・演習	振りの中でのテクニックを確認	授業内容を自主練習
10		講義・演習	新たな振り付けを覚える	授業内容を自主練習
11		講義・演習	ターンとジャンプのクオリティー強化	授業内容を自主練習
12		講義・演習	自分にしかできない表現力を考える	授業内容を自主練習
13		講義・演習	新しい振りでテストを行う	授業内容を自主練習
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習			常に自分が目指すための舞台観劇をする。ネットなどでのオーディション情報をチェックする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テーマパークC-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	竹内ゆかり 南山光徳
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス講師歴15年						
授業の学習 内容	前期で行ったテクニックの練習を引き続き行う。 振りうつしをカウントで行い、振り覚えのスピードを上げる練習後、 音楽に合わせて踊る。						
到達目標	リズムをしっかりと感じ、個性豊かな創造性を身につける。 プロの世界でも通用するようなダンススキルを習得できることを 目的とする。オーディション合格を目標とする。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	苦手なテクニックを自覚し練習	授業内容を自主練習
2		講義・演習	ターン、ジャンプなど確認	授業内容を自主練習
3		講義・演習	振り付けを覚える	授業内容を自主練習
4		講義・演習	振りの中でのテクニックの応用	授業内容を自主練習
5		講義・演習	振りの中での表現力の向上	授業内容を自主練習
6		講義・演習	振り覚えのスピードを上げる	授業内容を自主練習
7		講義・演習	振りの中での表情をつける	授業内容を自主練習
8		講義・演習	より高度な振りを覚える	授業内容を自主練習
9		講義・演習	オーディションなどでの魅せ方	授業内容を自主練習
10		講義・演習	テクニックの向上練習	授業内容を自主練習
11		講義・演習	集中力の作り方	授業内容を自主練習
12		講義・演習	オーディションでのメンタル	授業内容を自主練習
13		講義・演習	長めの振りでテスト	授業内容を自主練習
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習			常に自分が目指すための舞台観劇をする。ネットなどでのオーディション情報をチェックする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ボーカルダンス1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩崎 浩太郎
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ミュージカル・ライブ等バックダンサー、Freestyle講師歴10年						
授業の学習 内容	ヴォーカリストにとって必要な身体作り、必要なメソッドの習得、ソロアプローチ方やインプロテクニクを学ぶ						
到達目標	ヴォーカリストにとって必要な身体作り、必要なメソッドの習得、ソロアプローチ方やインプロテクニクを実践できる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		演習	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践、確認動画でチェックする。	
2		演習	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践確認動画でチェックする。	
3		演習	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。	
4		演習	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。	
5		演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。	
6		演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。	
7		演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。	
8		演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。	
9		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。	
10		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。	
11		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。	
12		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。	
13		演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践確認動画でチェックする。	
14		演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	振り返り動画でまとめ確認レポート作成	
15		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	振り返り動画でまとめ確認レポート作成	
準備学習 時間外学習			ヴォーカリストとして必要なパフォーマンススキルを習得するために自習、週4Hの練習と動画チェック		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	ボーカルダンス2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩崎 浩太郎
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ミュージカル・ライブ等バックダンサー、Freestyle講師歴10年						
授業の学習 内容	ヴォーカリストにとって必要な身体作り、必要なメソッドの習得、ソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ						
到達目標	ヴォーカリストにとって必要な身体作り、必要なメソッドの習得、ソロアプローチ方やインプロテクニックを実践できる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践、確認動画でチェックする。
2		演習	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
3		演習	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
4		演習	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
5		演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
6		演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
7		演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。
8		演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。
9		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
10		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
11		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
12		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
13		演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践確認動画でチェックする。
14		演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	振り返り動画でまとめ確認レポート作成
15		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	振り返り動画でまとめ確認レポート作成
準備学習 時間外学習			ヴォーカリストとして必要なパフォーマンススキルを習得するために自習、週4Hの練習と動画チェック	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	TAP1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	小勝久生
学科・コース	メディア＆テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	TAPダンサー・映画「座頭市」振付・出演、TAP歴年						
授業の学習内 容	舞台上で活躍することを目標とする者にとって必要不可欠であるタップダンス。 近年特に人気のミュージカルでも、テーマパークでも取り入れられるため基礎をしっかりと取得する。 授業を踏まえ、リズム感も養う。						
到達目標	・シャッフル、スラップ、スタンプ等基礎ステップの取得 ・イーブン、スウィングのシムシャムを覚える。 ・タイムステップ、ローダウンを覚える						
評価方法と基準	実技テストによる採点						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	・ボール、ヒール使い分け ・シャッフル、スラップ取得 ・タイムステップ、シムシャム取得		次週に向けての自主練習。		
2		講義・演習			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
3		講義・演習			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
4		講義・演習			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
5		講義・演習	クランプロールを用いて ターンステップの練習		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
6		講義・演習			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
7		講義・演習	イーブンタイムステップ		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
8		講義・演習	ローダウン①		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
9		講義・演習	ローダウン②		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
10		講義・演習	ローダウン③		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
11		講義・演習	ローダウン④		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
12		講義・演習	ローダウン全体をつなげる。		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
13		講義・演習	プルバックの練習		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
14		講義・演習	テスト課題		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
15		講義・演習	テスト		前期の復習		
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	TAP2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	小勝久生
学科・コース	メディア＆テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	TAPダンサー・映画「座頭市」振付・出演、TAP歴年						
授業の学習内容	舞台上で活躍することを目標とする者にとって必要不可欠であるタップダンス。 近年特に人気のミュージカルでも、テーマパークでも取り入れられるため基礎をしっかり取得する。 授業を踏まえ、リズム感も養う。						
到達目標	・シャッフル、スラップ、スタンプ等基礎ステップの取得 ・イーブン、スウィングのシムシャムを覚える。 ・タイムステップ、ローダウンを覚える						
評価方法と基準	実技テストによる採点						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	・ボール、ヒール使い分け ・シャッフル、スラップ取得 ・タイムステップ、シムシャム取得		次週に向けての自主練習。		
2		講義・演習		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
3		講義・演習		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
4		講義・演習		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
5		講義・演習	クランプロールを用いて ターンステップの練習		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
6		講義・演習		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
7		講義・演習	イーブンタイムステップ		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
8		講義・演習	ローダウン①		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
9		講義・演習	ローダウン②		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
10		講義・演習	ローダウン③		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
11		講義・演習	ローダウン④		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
12		講義・演習	ローダウン全体をつなげる。		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
13		講義・演習	プルバックの練習		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
14		講義・演習	テスト課題		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
15		講義・演習	テスト		後期の復習		
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	ヴォイストレーニングA-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	メディア &テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリジナル体幹理論による姿勢と発声	コメントシート記入
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	コメントシート記入
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	コメントシート記入
4		講義・演習	音域チェックと発声	コメントシート記入
5		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
6		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
13		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
14		講義・演習	前期中間Dance&Singテスト	コメントシート記入
15		講義・演習	前期中間Dance&Singテスト	コメントシート記入
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考】				
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニングA-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	メディア &テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れのない身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリジナル体幹理論による姿勢と発声	コメントシート記入
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	コメントシート記入
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	コメントシート記入
4		講義・演習	音域チェックと発声	コメントシート記入
5		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
6		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
13		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
14		講義・演習	後期Dance&Singテスト	コメントシート記入
15		講義・演習	後期Dance&Singテスト	コメントシート記入
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考】				
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニングB-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	メディア &テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れのない身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリジナル体幹理論による姿勢と発声	コメントシート記入
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	コメントシート記入
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	コメントシート記入
4		講義・演習	音域チェックと発声	コメントシート記入
5		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
6		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
13		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
14		講義・演習	前期中間Dance&Singテスト	コメントシート記入
15		講義・演習	前期中間Dance&Singテスト	コメントシート記入
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考】				
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニングB-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れのない身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリジナル体幹理論による姿勢と発声	コメントシート記入
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	コメントシート記入
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	コメントシート記入
4		講義・演習	音域チェックと発声	コメントシート記入
5		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
6		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
13		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
14		講義・演習	後期Dance&Singテスト	コメントシート記入
15		講義・演習	後期Dance&Singテスト	コメントシート記入
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考】				
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニングC-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	メディア &テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れのない身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリジナル体幹理論による姿勢と発声	コメントシート記入
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	コメントシート記入
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	コメントシート記入
4		講義・演習	音域チェックと発声	コメントシート記入
5		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
6		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
13		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
14		講義・演習	前期中間Dance&Singテスト	コメントシート記入
15		講義・演習	前期中間Dance&Singテスト	コメントシート記入
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考】				
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニングC-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	メディア &テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れのない身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリジナル体幹理論による姿勢と発声	コメントシート記入
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	コメントシート記入
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	コメントシート記入
4		講義・演習	音域チェックと発声	コメントシート記入
5		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
6		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
13		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
14		講義・演習	後期Dance&Singテスト	コメントシート記入
15		講義・演習	後期Dance&Singテスト	コメントシート記入
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考】				
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニングD-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	鮎川麻弥
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	「機動戦士Z・ガンダム」エンディング・テーマや主題歌、また200曲以上のCMソングを担当するなどヴォーカリストとして活躍中。						
授業の学習 内容	体感・腹筋・姿勢・呼吸法・発声・滑舌などの基礎レッスン。課題曲の歌唱及びレクチャー。 個々の理想を大切にしながら、目標に則した歌唱レッスンを行う。 発声・音程・リズム・表現・歌唱テクニック、あらゆる角度からレクチャーを行う。						
到達目標	「歌う声」とは何か？を理解しながらボーカルの大切な基礎を反復練習し、自分のスキルとして扱えるようになる。 じっくりレクチャーして「歌える声と体」を作って行き、同時に声優アーティストとしての心の育成にも努めることで、 「趣味としての歌」から「仕事としての歌」へシフトできるように技術と精神を身につけることができるようになる。 学んだ事を授業以外でも自身で反復練習を実施できるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス、課題曲ディスカッション、ボイトレ基礎	決まった課題曲の歌詞の準備 歌唱ができるように練習
2		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
3		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
4		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
5		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
6		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
7		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
8		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
9		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
10		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
11		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
12		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
13		講義・演習	歌唱テスト 発声・音程・リズム・表現	後期に向けた、歌唱への課題を見つける
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
課題曲は最初の授業でディスカッション選曲します。次週その曲の歌詞を各自2部プリントアウトして持参。 服装は稽古着もしくは動きやすい服(体幹トレーニング等の為)。持ち物は筆記用具とペットボトル等の水(水分補給の為)。				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷・東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校

科目名	ヴォイストレーニングD-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	鮎川麻弥
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	「機動戦士Z・ガンダム」エンディング・テーマや主題歌、また200曲以上のCMソングを担当するなどヴォーカリストとして活躍中。						
授業の学習 内容	体感・腹筋・姿勢・呼吸法・発声・滑舌などの基礎レッスン。課題曲の歌唱及びレクチャー。 個々の理想を大切にしながら、目標に則した歌唱レッスンを行う。 発声・音程・リズム・表現・歌唱テクニック、あらゆる角度からレクチャーを行う。						
到達目標	「歌う声」とは何か？を理解しながらボーカルの大切な基礎を反復練習し、自分のスキルとして扱えるようになる。 じっくりレクチャーして「歌える声と体」を作って行き、同時に声優アーティストとしての心の育成にも努めることで、 「趣味としての歌」から「仕事としての歌」へシフトできるように技術と精神を身につけることができるようになる。 学んだ事を授業以外でも自身で反復練習を実施できるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス、課題曲ディスカッション、ボイトレ基礎	決まった課題曲の歌詞の準備 歌唱ができるように練習
2		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
3		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
4		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
5		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
6		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
7		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
8		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
9		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
10		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
11		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
12		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
13		講義・演習	歌唱テスト 発声・音程・リズム・表現	来年に向けた、歌唱への課題を見つける
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
課題曲は最初の授業でディスカッション選曲します。次週その曲の歌詞を各自2部プリントアウトして持参。 服装は稽古着もしくは動きやすい服(体幹トレーニング等の為)。持ち物は筆記用具とペットボトル等の水(水分補給の為)。				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷・東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校

科目名	ヴォイストレーニングE-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	鮎川麻弥
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	元劇団四季俳優であり、「機動戦士Z・ガンダム」エンディング・テーマや主題歌、また200曲以上のCMソングを担当するなどヴォーカリストとして活躍中。						
授業の学習 内容	ミュージカル俳優としての、体感・腹筋・姿勢・呼吸法・発声・滑舌などの基礎レッスン。課題曲の歌唱及びレクチャー。 個々の理想を大切にしながら、目標に則した歌唱レッスンを行う。 発声・音程・リズム・表現・歌唱テクニック、あらゆる角度からレクチャーを行う。						
到達目標	「歌う声」とは何か？を理解しながら、ミュージカル歌唱の大切な基礎を反復練習し、自分のスキルとして扱えるようになる。 じっくりレクチャーして「歌える声と体」を作って行き、同時にミュージカル俳優としての心の育成にも努めることで、「趣味としての歌」から「仕事としての歌」へシフトできるように技術と精神を身につけられるようになる。 学んだ事を、授業以外でも反復練習を実施できるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス、課題曲ディスカッション、ボイトレ基礎	決まった課題曲の歌詞の準備 歌唱ができるように練習
2		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
3		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
4		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
5		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
6		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
7		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
8		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
9		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
10		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
11		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
12		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
13		講義・演習	歌唱テスト 発声・音程・リズム・表現	後期に向けた、歌唱への課題を見つける
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
課題曲は最初の授業でディスカッション選曲します。次週その曲の歌詞を各自2部プリントアウトして持参。 服装は稽古着もしくは動きやすい服(体幹トレーニング等の為)。持ち物は筆記用具とペットボトル等の水(水分補給の為)。				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷・東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校

科目名	ヴォイストレーニングE-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	鮎川麻弥
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	元劇団四季俳優であり、「機動戦士Z・ガンダム」エンディング・テーマや主題歌、また200曲以上のCMソングを担当するなどヴォーカリストとして活躍中。						
授業の学習 内容	ミュージカル俳優としての、体感・腹筋・姿勢・呼吸法・発声・滑舌などの基礎レッスン。課題曲の歌唱及びレクチャー。 個々の理想を大切にしながら、目標に則した歌唱レッスンを行う。 発声・音程・リズム・表現・歌唱テクニック、あらゆる角度からレクチャーを行う。						
到達目標	「歌う声」とは何か？を理解しながら、ミュージカル歌唱の大切な基礎を反復練習し、自分のスキルとして扱えるようになる。 じっくりレクチャーして「歌える声と体」を作って行き、同時にミュージカル俳優としての心の育成にも努めることで、「趣味としての歌」から「仕事としての歌」へシフトできるように技術と精神を身につけられるようになる。 学んだ事を、授業以外でも反復練習を実施できるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス、課題曲ディスカッション、ボイトレ基礎	決まった課題曲の歌詞の準備 歌唱ができるように練習
2		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
3		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
4		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
5		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
6		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
7		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
8		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
9		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
10		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
11		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
12		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
13		講義・演習	歌唱テスト 発声・音程・リズム・表現	来年に向けた、歌唱への課題を見つける
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
課題曲は最初の授業でディスカッション選曲します。次週その曲の歌詞を各自2部プリントアウトして持参。 服装は稽古着もしくは動きやすい服(体幹トレーニング等の為)。持ち物は筆記用具とペットボトル等の水(水分補給の為)。				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷・東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校

科目名	クリエイション1(ダンス)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	日置望 喜 西野恭 平
学科・コース	メディア＆テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	40 (4)		
教員の略歴	ダンサー・ヴォーカリスト講師歴18年/7年						
授業の学習内 容	他のレッスンで磨いたスキルを活かして、学生どうして作品を作っていく。その際、技術だけでなく団結力、積極性、先見性、習慣性、モラル、コミュニケーション能力、ディレクション受け入れ能力、危機管理能力、問題を解決する能力、時間管理等の能力のスキルアップも求められることに少しずつ気付いていく。クリエイティブかつ、ディレクションの受けられる授業。						
到達目標	・モラルがあり、どんな人ともコミュニケーションの取れる人材を作る。 ・協調性を持って作品を創作できるように積極的な人材育成。 ・ダンサーとしてのスキルアップ&振り付けや作品作りのスキルアップ ・応用力や適応力、ハプニングに強い人材育成。 ・決められたルールや約束をしっかり守れる人材育成。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	今後1年間の注意点など、リーダー決め、ユニット作成		筆記用具		
2		講義・演習	チェックのやり方の説明&実践、ユニット作成		筆記用具		
3		講義・演習	6/12,13の学祭に向けて ユニット作り、自分達で 作品を作り、毎週講師の HIYOがディレクションをし、 手直しを行う。		踊れる用意 筆記用具 本番近くには 衣装を用意		
4		講義・演習					
5		講義・演習					
6		講義・演習					
7		講義・演習	夏休み明けまでWe areに 動きが無いので、 トレーニング、様々なジャンル での基礎作り、場当たり方法 などレッスンする。				
8		講義・演習					
9		講義・演習					
10		講義・演習					
11		講義・演習					
12		講義・演習	ここからWe are作品作りに 向けて始動				
13		講義・演習					
14		講義・演習	We areの進行状況によって授業内容は 臨機応変に変える場合があります。				
15		講義・演習					
準備学習 時間外学習			作品作り、修正、チーム作り				
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	クリエイション2(ダンス)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	日置望 喜 西野恭 平
学科・コース	メディア＆テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	40 (4)		
教員の略歴	ダンサー・ヴォーカリスト講師歴18年/7年						
授業の学習内容	他のレッスンで磨いたスキルを活かして、学生どうして作品を作っていく。その際、技術だけでなく団結力、積極性、先見性、習慣性、モラル、コミュニケーション能力、ディレクション受け入れ能力、危機管理能力、問題を解決する能力、時間管理等の能力のスキルアップも求められることに少しずつ気付いていく。クリエイティブかつ、ディレクションの受けられる授業。						
到達目標	・モラルがあり、どんな人ともコミュニケーションの取れる人材を作る。 ・協調性を持って作品を創作できるように積極的な人材育成。 ・ダンサーとしてのスキルアップ&振り付けや作品作りのスキルアップ ・応用力や適応力、ハプニングに強い人材育成。 ・決められたルールや約束をしっかりと守れる人材育成。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	今後1年間の注意点など、リーダー決め、ユニット作成		筆記用具		
2		講義・演習	チェックのやり方の説明&実践、ユニット作成		筆記用具		
3		講義・演習	6/12,13の学祭に向けて ユニット作り、自分達で 作品を作り、毎週講師の HIYOがディレクションをし、 手直しを行う。		踊れる用意 筆記用具 本番近くには 衣装を用意		
4		講義・演習					
5		講義・演習					
6		講義・演習					
7		講義・演習	夏休み明けまでWe areに 動きが無いので、 トレーニング、様々なジャンル での基礎作り、場当たり方法 などレッスンする。				
8		講義・演習					
9		講義・演習					
10		講義・演習					
11		講義・演習					
12		講義・演習	ここからWe are作品作りに 向けて始動				
13		講義・演習					
14		講義・演習	We areの進行状況によって授業内容は 臨機応変に変える場合があります。				
15		講義・演習					
準備学習 時間外学習			作品作り、修正、チーム作り				
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	アクロバット1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	井上 守
学科・コース	メディア &テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	特殊技能であるアクロバットを習得するのが目的。 マットを利用して基礎的なマット運動から始めて徐々に高難度のタンブリング系の技の練習を行う。 アクロバット習得に必要な基礎トレーニングを重ねることによって、身体能力の向上が望めるので他のダンスや実技クラスにも活かせる。 具体的に技を習得することの達成感や、難しいことにも繰り返し挑戦する意義を学ぶ。						
到達目標	技の習得やアクロバット技術への理解を深めることにより、表現力の幅を広げる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業内容、注意事項の説明。マット運動の基礎練習。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
2		演習	マット運動の基礎練習、倒立、側転を習得する。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
3		演習	マット運動の基礎練習、倒立、側転を習得する。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
4		演習	基礎練習、ロンダートを理解、習得する。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
5		演習	基礎練習、ロンダートを理解、習得する。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
6		演習	側転の応用、前方転回(ハndsスプリング)を習得する①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
7		演習	側転の応用、前方転回(ハndsスプリング)を習得する②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
8		演習	前方転回のバリエーションを習得する。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
9		演習	前方転回のバリエーションを習得する。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
10		演習	前方転回、側宙の練習。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
11		演習	前方転回、側宙の練習。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
12		演習	前方転回、側宙、バク転の説明と練習。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
13		演習	基礎練習、前方転回練習。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
14		試験	実技試験。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
15		演習	前期のまとめ、バク転の練習。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
準備学習 時間外学習			基礎トレーニング、体験トレーニングを随時行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	アクロバット2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	井上 守
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	特殊技能であるアクロバットを習得するのが目的。 基礎マット運動、タンブリング系に加え、カポエイラやトリッキングなどの動きを取り入れた練習を行う。 アクロバット習得に必要な基礎トレーニングを重ねることによって、身体能力の向上が望めるので他のダンスや実技クラスにも活かせる。 具体的に技を習得することの達成感や、難しいことにも繰り返し挑戦する意義を学ぶ。						
到達目標	技の習得やアクロバット技術への理解を深めることにより、表現力の幅を広げる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業内容、注意事項の説明。マット運動の基礎練習。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
2		演習	マット運動の基礎練習、倒立、側転を習得する。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
3		演習	マット運動の基礎練習、倒立、側転を習得する。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
4		演習	基礎練習、ロンダートを理解、習得する。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
5		演習	基礎練習、ロンダートを理解、習得する。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
6		演習	側転の応用、前方転回(ハndsスプリング)を習得する①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
7		演習	側転の応用、前方転回(ハndsスプリング)を習得する②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
8		演習	前方転回、側宙、バク転の説明と練習。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
9		演習	前方転回、側宙、バク転の練習。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
10		演習	前方転回、側宙、バク転の練習。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
11		演習	応用技の練習、バク転の練習。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
12		演習	応用技の練習、バク転の練習。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
13		試験	実技試験。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
14		演習	応用技の練習、バク転の練習。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
15		演習	応用技の練習、バク転の練習。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
準備学習 時間外学習			基礎トレーニング、体験トレーニングを随時行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	K-POP1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	鄭 壽美
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	K-POPヴォーカリストで活躍していく為には幅広い表現力が必要となる。本講義ではヴォーカリスにおける応用とそのスキルを学び、実際に表現に繋げていけるようにする。						
到達目標	K-POP音楽業界で活躍していく為に必要なヴォーカリストの基礎と活用方法を習得し実践できるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習 (学習課題)	
1		演習	K-POP歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践、確認動画でチェックする。	
2		演習	K-POP歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践確認動画でチェックする。	
3		演習	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。	
4		演習	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。	
5		演習	K-POPパフォーマンスの緩急を表現できる	K-POPパフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。	
6		演習	K-POPパフォーマンスの緩急を表現できる	K-POPパフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。	
7		演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。	
8		演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。	
9		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。	
10		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。	
11		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。	
12		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。	
13		演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践確認動画でチェックする。	
14		演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	振り返り動画でまとめ確認レポート作成	
15		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	振り返り動画でまとめ確認レポート作成	
準備学習 時間外学習			ヴォーカリストとして必要なパフォーマンススキルを習得するために自習、週4Hの練習と動画チェック		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	K-POP2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	鄭 壽美
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	Korean Music ヴォーカリストで活躍していく為には幅広い表現力が必要となる。本講義ではヴォーカリスにおける応用とそのスキルを学び、実際に表現に繋げていけるようにする。						
到達目標	K-POP音楽業界で活躍していく為に必要なヴォーカリストの基礎と活用方法を習得し実践できるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習 (学習課題)	
1		演習	K-POP歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践、確認動画でチェックする。	
2		演習	K-POP歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践確認動画でチェックする。	
3		演習	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。	
4		演習	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。	
5		演習	K-POPパフォーマンスの緩急を表現できる	K-POPパフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。	
6		演習	K-POPパフォーマンスの緩急を表現できる	K-POPパフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。	
7		演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。	
8		演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。	
9		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。	
10		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。	
11		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。	
12		演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。	
13		演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践確認動画でチェックする。	
14		演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	振り返り動画でまとめ確認レポート作成	
15		演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	振り返り動画でまとめ確認レポート作成	
準備学習 時間外学習			ヴォーカリストとして必要なパフォーマンススキルを習得するために自習、週4Hの練習と動画チェック		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	BREAKIN1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	石田創
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ブレイクダンサーにとって必要な身体作り、フロアムーブを中心に、フットワーク、フリーズ、ムーブメントの知識を取り入れ次実践。必要なメソッドの習得、 またソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ						
到達目標	ブレイクダンスはstreet danceだけではなく身体作り・筋肉トレーニングが取り入れられているので幅の広いダンステクニックを習得する						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	ブレイクダンスに必要なストレッチ法の習得	各自授業内容を復習
2		演習	基本的なステップムーブの習得・実践	各自授業内容を復習
3		演習	チェアー・スピンの習得・実践	各自授業内容を復習
4		演習	トップロックまでの振付をスムーズに行う	各自授業内容を復習
5		演習	フットワーク・6ステップの実践	各自授業内容を復習
6		演習	バックスピンの実践	各自授業内容を復習
7		演習	これまでの流れを取り入れた振付・実践	各自授業内容を復習
8		演習	フリーズの種類を習得・実践	各自授業内容を復習
9		演習	チェアー・エアチェアー・マックス・ジョーダン(片手フリーズ系)	各自授業内容を復習
10		演習	倒立・ラビット・片手ラビット(ステッピン)の実践	各自授業内容を復習
11		演習	マカコ・バク転の実践	各自授業内容を復習
12		演習	これまでの流れを取り入れた振付・実践	各自授業内容を復習
13		試験	振付けられた振りとインプロが実践できる	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	BREAKIN2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	石田 創
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ブレイクダンサーにとって必要な身体作り、フロアムーブを中心に、フットワーク、フリーズ、ムーブメントの知識を取り入れ次実践。必要なメソッドの習得、 またソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ						
到達目標	ブレイクダンスはstreet danceだけではなく身体作り・筋肉トレーニングが取り入れられているので幅の広いダンステクニックを習得する						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	ブレイクダンスに必要なストレッチ法の習得	各自授業内容を復習
2		演習	基本的なステップムーブの習得・実践	各自授業内容を復習
3		演習	チェアー・スピンの習得・実践	各自授業内容を復習
4		演習	トップロックまでの振付をスムーズに行う	各自授業内容を復習
5		演習	フットワーク・6ステップの実践	各自授業内容を復習
6		演習	バックスピンの実践	各自授業内容を復習
7		演習	これまでの流れを取り入れた振付・実践	各自授業内容を復習
8		演習	フリーズの種類を習得・実践	各自授業内容を復習
9		演習	チェアー・エアチェアー・マックス・ジョーダン(片手フリーズ系)	各自授業内容を復習
10		演習	倒立・ラビット・片手ラビット(ステッピン) の実践	各自授業内容を復習
11		演習	マカコ・バク転の実践	各自授業内容を復習
12		演習	これまでの流れを取り入れた振付・実践	各自授業内容を復習
13		試験	振付けられた振りとインプロが実践できる	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	POP 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	米川毅
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	＜プロフィール＞ Show ダンサー・東京ディズニーランド、レオマワールド出演／スペースワールド振付け。Live・矢沢永吉、コロッセ、中村雅俊、佐々木望、Psalm サポートダンサーとして出演振付け／X-TRAIL JAM in東京ドーム、エイズチャリティーライブin日本武道館(サザンオールスターズ野沢毛ガニプロデュース)、スリムビューティーサロンshow 出演振付け						
授業の学習 内容	ダンサーにとって必要な身体作り、street dance 特にPOPPIN DANCEに必要なメソッドの習得、またソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ						
到達目標	Poppinはstreet danceだけではなくjazzやコンテンポラリーにも多く取り入れられているので幅の広いダンステクニックを習得する						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	ヒットが実践できる	各自授業内容を復習
2		演習	ダイムストップが実践できる	各自授業内容を復習
3		演習	ハンドウェーブが実践できる	各自授業内容を復習
4		演習	ボディウェーブが実践できる	各自授業内容を復習
5		演習	キングコブラが実践できる	各自授業内容を復習
6		演習	ティッキングが実践できる	各自授業内容を復習
7		演習	フローティングが実践できる	各自授業内容を復習
8		演習	ブガルーリズムが実践できる	各自授業内容を復習
9		演習	ブガルーステップが実践できる	各自授業内容を復習
10		演習	アニメーションが実践できる	各自授業内容を復習
11		演習	アニメーションが実践できる	各自授業内容を復習
12		演習	インプロが実践できる	各自授業内容を復習
13		試験	振付けられた振りとインプロが実践できる	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	POP 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	米川毅
学科・コース	メディア＆テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	＜プロフィール＞ Show ダンサー・東京ディズニーランド、レオマワールド出演／スペースワールド振付け。Live・矢沢永吉、コロッケ、中村雅俊、佐々木望、Psalm サポートダンサーとして出演振付け／X-TRAIL JAM in東京ドーム、エイズチャリティーライブin日本武道館(サザンオールスターズ野沢毛ガニプロデュース)、スリムビューティーサロンshow 出演振付け						
授業の学習 内容	ダンサーにとって必要な身体作り、street dance 特にPOPPIN DANCEに必要なメソッドの習得、またソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ						
到達目標	Poppinはstreet danceだけではなくjazzやコンテンポラリーにも多く取り入れられているので幅の広いダンステクニックを習得する						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	ヒットが実践できる	各自授業内容を復習
2		演習	ダイムストップが実践できる	各自授業内容を復習
3		演習	ハンドウェーブが実践できる	各自授業内容を復習
4		演習	ボディウェーブが実践できる	各自授業内容を復習
5		演習	キングコブラが実践できる	各自授業内容を復習
6		演習	ティッキングが実践できる	各自授業内容を復習
7		演習	フローティングが実践できる	各自授業内容を復習
8		演習	ブガルーリズムが実践できる	各自授業内容を復習
9		演習	ブガルーステップが実践できる	各自授業内容を復習
10		演習	アニメーションが実践できる	各自授業内容を復習
11		演習	アニメーションが実践できる	各自授業内容を復習
12		演習	インプロが実践できる	各自授業内容を復習
13		試験	振付けられた振りとインプロが実践できる	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HOUSE1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	池田 卓
学科・コース	メディア &テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	世界最高峰のストリートダンスコンテスト「JAPAN DELIGHT」決勝出場。その他バトル、コンテストなど優勝						
授業の学習 内容	HOUSEの基礎を正しく理解し、HIP HOPなどにも共通するリズムやアームス、ボディコントロールなどを使いこなせるようにする						
到達目標	・HOUSEのベーシックな動き(体の止め方)を習得すること ・HOUSE特有のスピード感、タメ、止めを体現すること						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	HOUSE基礎①(ベーシックムーブ)	各自授業内容を復習
2		講義・演習	HOUSE基礎②(ベーシックムーブ応用)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	リズム&アイソレーション	各自授業内容を復習
4		講義・演習	リズム&ベーシックムーブ	各自授業内容を復習
5		講義・演習	コンビネーション	各自授業内容を復習
6		講義・演習	”遊び”を混ぜる	各自授業内容を復習
7		講義・演習	フロアを混ぜる	各自授業内容を復習
8		講義・演習	アクロバットを混ぜる	各自授業内容を復習
9		講義・演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
10		講義・演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		講義・演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		講義・演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		講義・演習	試験	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YoutubeなどでHOUSEを観る。知る。触れる。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HOUSE2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	池田 卓
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	JAPAN DANCE DELIGHT決勝進出など、全国のバトルやコンテストで優勝など受賞多数						
授業の学習 内容	HOUSEの基礎を使い、個性的に踊りこなせるように指導をする						
到達目標	・振付は勿論、フリーでもHOUSEを踊れるようにすること ・様々な曲調に対応したHOUSEができるようになること						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	HOUSE基礎の復習	各自授業内容を復習
2		講義・演習	HOUSE応用(ステップの変化)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	HOUSE応用(リズムの変化)	各自授業内容を復習
4		講義・演習	フリーで踊ろう	各自授業内容を復習
5		講義・演習	ゲーム形式で踊ろう	各自授業内容を復習
6		講義・演習	オリジナルムーブを作ろう	各自授業内容を復習
7		講義・演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
8		講義・演習	HOUSE基礎～応用	各自授業内容を復習
9		講義・演習	模擬バトル	各自授業内容を復習
10		講義・演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		講義・演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		講義・演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		講義・演習	試験	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	シアターJAZZ1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	谷 さくら 南山光徳
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ダンス歴 10年／15年						
授業の学習 内容	俳優でも踊りを要求される現場が増えてる今、仕事をして行く上でのカテゴリーの一つとして踊りを踊れる事は重要である。芝居と同じで様々なシチュエーションでの表現を踊りで出来る様に、自分の身体と向き合い必要な集中力や基礎体力を養う。						
到達目標	表現・自己アピールをして行く上で、魅せ方や立ち姿など自分の身体をしっかり観察出来る観察力、想像力、キャッチ力などを意識出来る様になる。 現在の自分より二周りほど広い視野を持ち、身を置ける様になる。 身体の柔軟性、基礎体力を習得し、また、厳しい俳優の世界で続けることのできる精神力も養えるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	2人組でのストレッチ。筋トレ。ターンステップ。音楽に合わせて、振付コンビネーションを覚えて踊る	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
2		講義・演習	2人組でのストレッチ。筋トレ。ターンステップからバランス。音楽に合わせて、振付コンビネーションを覚えて踊る	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
3		講義・演習	2人組でのストレッチ。筋トレ。ターンステップからバランス。音楽に合わせて、振付コンビネーションを覚えて踊る	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
4		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。ターンバランス。新しいコンビネーションに入る。	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
5		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。ターン。コンビネーション進める。	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
6		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。アイソレーション。ターン。コンビネーション進める。	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
7		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。ウォーキング。ターン。コンビネーションを見せ合う。	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
8		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。前期テスト課題に入る。 テスト内容①ウォーキング②ターン③コンビネーション	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
9		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。テスト課題の振付 コンビネーション① ターンを習得	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
10		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。テスト課題の振付 コンビネーション② ステップを習得	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
11		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。テスト課題の振付 コンビネーション③ 複数の技を組み合わせて踊ることを習得	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	テストの実施 人前で魅せる表現を習得	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
14		講義・演習	前期のまとめ 後期に向けた課題発表	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			振り入れされたダンスを自主練すること	
【使用教科書・教材・参考書】				
教科書は使用しない。動きやすい服装、靴で参加。タオル・水分も必ず用意する				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷・東京ダンス・俳優＆舞台芸術専門学校

科目名	シアターJAZZ2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	谷 さくら 南山光徳
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ダンス歴 10年／15年						
授業の学習 内容	俳優でも踊りを要求される現場が増えてる今、仕事をして行く上でのカテゴリーの一つとして踊りを踊れる事は重要である。芝居と同じで様々なシチュエーションでの表現を踊りで出来る様に、自分の身体と向き合い必要な集中力や基礎体力を養う。						
到達目標	表現・自己アピールをして行く上で、魅せ方や立ち姿など自分の身体をしっかりと観察出来る観察力、想像力、キャッチ力などを意識出来る様になる。 現在の自分より二周りほど広い視野を持ち、身を置ける様になる。 身体の柔軟性、基礎体力を習得できるようになる。 また、厳しい俳優の世界で続けることのできる精神力が身につく。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチ。アイソレーション。ターンコンビネーション。コンビネーション(コンタクトを取り入れる)①振りの正確な修得	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
2		講義・演習	ストレッチ。アイソレーション。ターンコンビネーション。コンビネーション(コンタクトを取り入れる)②振りの細かなニュアンス	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
3		講義・演習	ストレッチ。アイソレーション。ターンコンビネーション。コンビネーション(コンタクトを取り入れる)③振りの表現について	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
4		講義・演習	ストレッチ。アイソレーション。ターンコンビネーション。コンビネーション(コンタクトを取り入れる)④互いに見せ合う	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
5		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。ターンバランス。新しいコンビネーションに入る。	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
6		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。アイソレーション。ターン。コンビネーションを進める。	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
7		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。ウォーキング。ターン。コンビネーションを見せ合う。	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
8		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。後期テスト課題に入る。 テスト内容①ウォーキング②ターン③コンビネーション	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
9		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。テスト課題の振付 コンビネーション① ターンを習得	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
10		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。テスト課題の振付 コンビネーション② ステップを習得	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
11		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。テスト課題の振付 コンビネーション③ 複数の技を組み合わせて踊ることを習得	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
12		講義・演習	テストの実施 人前で魅せる表現を習得	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
13		講義・演習	前期のまとめ 2年に向けた課題を各自考え、シェアする	振付したダンスを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			振り入れられたダンスを自主練すること	
【使用教科書・教材・参考書】				
教科書は使用しない。動きやすい服装、靴で参加。タオル・水分も必ず用意する				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷・東京ダンス・俳優＆舞台芸術専門学校

科目名	パントマイム1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	江ノ上 陽 二
学科・コース	メディア＆テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	パントマイム歴 35年						
授業の学習 内容	パントマイムと言語という具象行為を意図的に廃し言葉さえも肉体化する芸術である。それは、日常全ての言語を肉体化すること。そのためには肉体の緊張と弛緩、分解、重心移動、動くスピードのコントロールなどを習得する事が必須である。また、肉体訓練を継続して行い、演技者として人前に立つ為に不可欠な、想いを表現できる身体の獲得を目指す。 同時に、観察を基に無意識な日常行動における身体的動作の認識作業を行い、「動き」に「想い」を込め、独自の魅力的な所作を手に入れる。基本的なテクニックを身につけた上で、「無声」、「何も無い空間」という状況の中で、想像力を駆使し身体だけの表現を体現出来るようにする。						
到達目標	正確なパントマイムテクニックの習得、また自由で型破りな想像力を獲得できるようになる。 身体だけで言葉を使わずに、自分の「想い」を他者に伝えることができるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	身体訓練、マイムウォーク、ロボット	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
2		講義・演習	身体訓練、胸のコントラクション、体重移動、表情のスピーディーな変化、マイムウォーク	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
3		講義・演習	身体訓練、胸のコントラクション、体重移動、表情のスピーディーな変化、マイムウォーク	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
4		講義・演習	身体訓練、胸のコントラクション、体重移動、表情のスピーディーな変化、マイムウォーク、ロボット	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
5		講義・演習	身体訓練、体重移動、表情の研究、マイムウォーク、ロボット	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
6		講義・演習	身体訓練、体重移動、表情の研究、マイムウォーク、ロボット	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
7		講義・演習	身体訓練、マイムウォークとロボット組み合わせによる場面の变化の習得	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
8		講義・演習	身体訓練、ストーリーの中のマイムウォーク、ロボットのオリジナル振付	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
9		講義・演習	身体訓練、決められた音楽、時間内でマイムウォークとロボットのテクニックを使った作品創作	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
10		講義・演習	実技テスト	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
11		講義・演習	実技テストでのパフォーマンス再演	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
12		講義・演習	身体訓練、壁のテクニックの基本	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
13		講義・演習	身体訓練、壁のテクニックの基本	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
教科書は使用しない。動きやすい服装、ダンススニーカーで出席のこと。				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷・東京ダンス・俳優＆舞台芸術専門学校

科目名	パントマイム2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	江ノ上 陽二
学科・コース	メディア＆テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	パントマイム歴 35年						
授業の学習 内容	パントマイムと言語という具象行為を意図的に廃し言葉さえも肉体化する芸術である。それは、日常全ての言語を肉体化すること。そのためには肉体の緊張と弛緩、分解、重心移動、動くスピードのコントロールなどを習得する事が必須である。また、肉体訓練を継続して行い、演技者として人前に立つ為に不可欠な、想いを表現できる身体の獲得を目指す。 同時に、観察を基に無意識な日常行動における身体的動作の認識作業を行い、「動き」に「想い」を込め、独自の魅力的な所作を手に入れる。基本的なテクニックを身につけた上で、「無声」、「何も無い空間」という状況の中で、想像力を駆使し身体だけの表現を体現出来るようにする。						
到達目標	正確なパントマイムテクニックの習得、また自由で型破りな想像力を獲得できるようになる。 身体だけで言葉を使わずに、自分の「想い」を他者に伝えることができるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	身体訓練、壁のテクニックの応用	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
2		講義・演習	身体訓練、壁のテクニックの応用	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
3		講義・演習	身体訓練、壁のテクニックにドアーテクニックを追加する	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
4		講義・演習	身体訓練、壁のテクニックにドアーテクニックを追加する	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
5		講義・演習	身体訓練、決められた時間内で壁のテクニックを使用しストーリーを完成させる	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
6		講義・演習	身体訓練、固定点のテクニックの習得	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
7		講義・演習	身体訓練、固定点のテクニックの応用	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
8		講義・演習	身体訓練、決められた時間内にて固定点のテクニックを使用しパフォーマンスを作り上げる	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
9		講義・演習	身体訓練、決められた時間内にて固定点のテクニックを使用しパフォーマンスを作り上げる	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
10		講義・演習	実技試験	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
11		講義・演習	実技試験でのパフォーマンスの再演	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
14		講義・演習	身体訓練、マイムウォーク、ロボット、壁、ドアー、固定点習得したテクニックでパフォーマンス作成	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
15		講義・演習	身体訓練、マイムウォーク、ロボット、壁、ドアー、固定点習得したテクニックでパフォーマンス作成	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
教科書は使用しない。動きやすい服装、ダンススニーカーで出席のこと。				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷・東京ダンス・俳優＆舞台芸術専門学校

科目名	演劇ワークショップA-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	山口 晃
学科・コース	メディア＆テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	60 (4)		
教員の略歴	桐朋学園大学短期大学部芸術科演劇コース卒。劇団青年座所属(42年)、俳優・演出家として活躍。						
授業の学習 内容	様々に変化する現在の芸能界における俳優としての立ち振る舞いと、必要とされる「演技力」を知る。 以上を踏まえ、あらゆる現場でのびのびと表現と演技ができるようになるための基礎力をつける。						
到達目標	演技の基礎である、「自分自身を知ること」「他者の気持ちを慮ること」「自らの『心、声、体』を 自在に使いこなすこと」この3つ取っ掛かりを掴めるようになる。 演技に興味を持ち、幅広いジャンルの演技や映画やアニメなどに自主的に触れられるようになる。 身の回りの心動く出来事にワクワクできる柔らかい感性を持てるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	俳優と演技について思考する	
2		講義・演習	実際に演技に触れてみる	
3		講義・演習	実技発表を通して、演技を思考する	授業内の発表に向けた自主稽古
4		講義・演習	演技をブラッシュアップする	授業内の発表に向けた自主稽古
5		講義・演習	台本に触れる	授業内の発表に向けた自主稽古
6		講義・演習	発表を通して役作りと演技を思考する	授業内の発表に向けた自主稽古
7		講義・演習	台本をブラッシュアップする	授業内の発表に向けた自主稽古
8		講義・演習	役作りとは？	授業内の発表に向けた自主稽古
9		講義・演習	心を動かす	授業内の発表に向けた自主稽古
10		講義・演習	他者と演技するということ	授業内の発表に向けた自主稽古
11		講義・演習	ここまででやったことを踏まえた演技発表	授業内の発表に向けた自主稽古
12		講義・演習	演技発表としてのフィードバックからの、さらなる研鑽	授業内の発表に向けた自主稽古
13		講義・演習	発表 進級公演(後期)課題の発表と方向性について	
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布台本・ノート・筆記用具				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷・東京ダンス・俳優＆舞台芸術専門学校

科目名	演劇ワークショップ A-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	山口 晃
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	60 (4)		
教員の略歴	桐朋学園大学短期大学部芸術科演劇コース卒。劇団青年座所属(42年)、俳優・演出家として活躍。						
授業の学習 内容	進級公演課題を通し、自分のキャラクターを知る。 様々に変化する現在の芸能界における俳優としての立ち振る舞いと、必要とされる「演技力」を知る。 以上を踏まえ、あらゆる現場でのびのびと表現と演技ができるようになるための基礎力をつける。						
到達目標	進級公演の課題を通し、「自分自身を知ること」「他者の気持ちを慮ること」「自らの『心、声、体』を自在に使いこなすこと」この3つの取っ掛かりを掴めるようになる。 演技に興味を持ち、幅広いジャンルの演技や映画やアニメなどに自主的に触れられるようになる。 身の回りの心動く出来事にワクワクできる柔らかい感性を持てるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	台本をもらったら	授業内の発表に向けた自主稽古
2		講義・演習	役作りとは？	授業内の発表に向けた自主稽古
3		講義・演習	相手役との芝居とは	授業内の発表に向けた自主稽古
4		講義・演習	全体の流れを掴む	授業内の発表に向けた自主稽古
5		講義・演習	ラストシーンから、自分の役割を思考する	授業内の発表に向けた自主稽古
6		講義・演習	通し稽古から全体像を掴む	授業内の発表に向けた自主稽古
7		講義・演習	抜き稽古で、体に芝居をなじませる	授業内の発表に向けた自主稽古
8		講義・演習	等身大の感情を超える	授業内の発表に向けた自主稽古
9		講義・演習	お客様に魅せる演技とは？	授業内の発表に向けた自主稽古
10		講義・演習	発表に向けての詰め稽古	授業内の発表に向けた自主稽古
11		講義・演習	発表に向けての詰め稽古	授業内の発表に向けた自主稽古
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
14		講義	発表を終えてのフィードバック	授業内の発表に向けた自主稽古
15		講義	自分なりの課題をアウトプットすること、来年に活かすための方法	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布台本・ノート・筆記用具				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷・東京ダンス・俳優＆舞台芸術専門学校

科目名	演劇ワークショップ B-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	山口 晃
学科・コース	メディア＆テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	60 (4)		
教員の略歴	桐朋学園大学短期大学部芸術科演劇コース卒。劇団青年座所属(42年)、俳優・演出家として活躍。						
授業の学習 内容	様々に変化する現在の芸能界における俳優としての立ち振る舞いと、必要とされる「演技力」を知る。 以上を踏まえ、あらゆる現場でのびのびと表現と演技ができるようになるための基礎力をつける。						
到達目標	演技の基礎である、「自分自身を知ること」「他者の気持ちを慮ること」「自らの『心、声、体』を自在に使いこなすこと」この3つ取っ掛かりを掴めるようになる。 演技に興味を持ち、幅広いジャンルの演技や映画やアニメなどに自主的に触れられるようになる。 身の回りの心動く出来事にワクワクできる柔らかい感性を持てるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	俳優と演技について思考する	
2		講義・演習	実際に演技に触れてみる	
3		講義・演習	実技発表を通して、演技を思考する	授業内の発表に向けた自主稽古
4		講義・演習	演技をブラッシュアップする	授業内の発表に向けた自主稽古
5		講義・演習	台本に触れる	授業内の発表に向けた自主稽古
6		講義・演習	発表を通して役作りと演技を思考する	授業内の発表に向けた自主稽古
7		講義・演習	台本をブラッシュアップする	授業内の発表に向けた自主稽古
8		講義・演習	役作りとは？	授業内の発表に向けた自主稽古
9		講義・演習	心を動かす	授業内の発表に向けた自主稽古
10		講義・演習	他者と演技するということ	授業内の発表に向けた自主稽古
11		講義・演習	ここまででやったことを踏まえた演技発表	授業内の発表に向けた自主稽古
12		講義・演習	演技発表としてのフィードバックからの、さらなる研鑽	授業内の発表に向けた自主稽古
13		講義・演習	発表 進級公演(後期)課題の発表と方向性について	
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布台本・ノート・筆記用具				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷・東京ダンス・俳優＆舞台芸術専門学校

科目名	演劇ワークショップ B-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	山口 晃
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	60 (4)		
教員の略歴	桐朋学園大学短期大学部芸術科演劇コース卒。劇団青年座所属(42年)、俳優・演出家として活躍。						
授業の学習 内容	進級公演課題を通し、自分のキャラクターを知る。 様々に変化する現在の芸能界における俳優としての立ち振る舞いと、必要とされる「演技力」を知る。 以上を踏まえ、あらゆる現場でのびのびと表現と演技ができるようになるための基礎力をつける。						
到達目標	進級公演の課題を通し、「自分自身を知ること」「他者の気持ちを慮ること」「自らの『心、声、体』を自在に使いこなすこと」この3つ取っ掛かりを掴めるようになる。 演技に興味を持ち、幅広いジャンルの演技や映画やアニメなどに自主的に触れられるようになる。 身の回りの心動く出来事にワクワクできる柔らかい感性を持てるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	台本をもらったら	授業内の発表に向けた自主稽古
2		講義・演習	役作りとは？	授業内の発表に向けた自主稽古
3		講義・演習	相手役との芝居とは	授業内の発表に向けた自主稽古
4		講義・演習	全体の流れを掴む	授業内の発表に向けた自主稽古
5		講義・演習	ラストシーンから、自分の役割を思考する	授業内の発表に向けた自主稽古
6		講義・演習	通し稽古から全体像を掴む	授業内の発表に向けた自主稽古
7		講義・演習	抜き稽古で、体に芝居をなじませる	授業内の発表に向けた自主稽古
8		講義・演習	等身大の感情を超える	授業内の発表に向けた自主稽古
9		講義・演習	お客様に魅せる演技とは？	授業内の発表に向けた自主稽古
10		講義・演習	発表に向けての詰め稽古	授業内の発表に向けた自主稽古
11		講義・演習	発表に向けての詰め稽古	授業内の発表に向けた自主稽古
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
14		講義	発表を終えてのフィードバック	授業内の発表に向けた自主稽古
15		講義	自分なりの課題をアウトプットすること、来年に活かすための方法	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布台本・ノート・筆記用具				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷・東京ダンス・俳優＆舞台芸術専門学校

科目名	アクティング基礎Ⅰ	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	大谷章 文
学科・コース	メディア＆テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	俳優・演技学校アクターズクリニックにて、演技講師 23年						
授業の学習 内容	自身の感性を扱う「俳優」という職業を、実際に行われているトレーニングを通して追体験することで、自己評価の再確認と、コミュニケーション能力を磨く。本授業はワークショップ形式で、随時自らが体験していく。						
到達目標	演技をする上で必要なコミュニケーションをとり、他者の中で、(自分よりも優先して)相手や環境を感じることができるようになる 想像力を使い、指定された状況・設定の中で自分として存在することができるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介ゲーム、あなたわたしゲーム(説明及び体験)、ポーズ回しゲーム(説明及び体験)、名前呼びゲーム(説明及び体験)、名前鬼ゲーム(説明及び体験)	演技をする上で必要となる能力、技術についてゲームを通して確認する。他者の中で、恥ずかしがらずに存在することができる。
2		講義・演習	あなたわたしゲーム(実践及び応用)、ポーズ回しゲーム(実践)、リズムしりとりゲーム(説明及び体験)、リズム連想ゲーム(説明及び体験)、名前鬼ゲーム(実践)	演技をする上で必要となる能力、技術についてゲームを通して確認する。他者の中で、恥ずかしがらずに存在することができる。
3		講義・演習	あなたわたしゲーム(実践及び応用)、リズムしりとり、リズム連想ゲーム(実践)、ひとりにならないでゲーム(説明及び体験)、職業当てゲーム(説明及び体験)	演技をする上で必要となる能力、技術についてゲームを通して確認する。他者の中で、恥ずかしがらずに声を出したり相手の目を見ることができる。
4		講義・演習	あなたわたしゲーム(実践及び応用)、リズムしりとり、リズム連想ゲーム(実践及び応用)、ひとりにならないでゲーム(実践)、職業当てゲーム(実践)	演技をする上で必要となる能力、技術についてゲームを通して確認する。他者の中で、恥ずかしがらずに声を出したり相手の目を見ることができる。
5		講義・演習	。あなたわたしゲーム(実践及び応用)、リズムしりとり、リズム連想ゲーム(実践及び応用)、イエスアンドゲーム(説明及び体験)、そうしようゲーム(説明及び体験)、セリフを使ったキャッチボール(説明及び体験)	演技をする上で必要となる能力、技術についてゲームを通して確認する。他者の中で、円滑にコミュニケーションがとれる(恥ずかしがらずに声を出したり笑顔になることができる)
6		講義・演習	あなたわたしゲーム(実践及び応用)、リズムしりとり、リズム連想ゲーム(実践及び応用)、イエスアンドゲーム(説明及び体験)、そうしようゲーム(説明及び体験)、セリフを使ったキャッチボール(説明及び体験)、あなたわたしゲーム(実践及び応用)、リズムしりとり、リズム連想ゲーム(実践及び応用)、そうしようゲーム(実践及び応用)、なにやってくるのゲーム(説明及び体験)、セリフを使ったキャッチボール(実践)	演技をする上で必要となる能力、技術についてゲームを通して確認する。他者の中で、円滑にコミュニケーションがとれる(恥ずかしがらずに声を出したり笑顔になることができる)。
7		講義・演習	あなたわたしゲーム(実践及び応用)、かゆいところ当て(説明及び体験) なにやってくるのゲーム(実践及び応用)、五感呼び覚ますエクササイズ(説明及び体験)	演技をする上で必要となる能力、技術についてゲームを通して確認する。五感を使って、(自分よりも優先して)環境や他者を感じることができる。
8		講義・演習	あなたわたしゲーム(実践及び応用)、して欲しいこと当てゲーム(説明と体験) 五感呼び覚ますエクササイズ(実践及び応用)	演技をする上で必要となる能力、技術についてゲームを通して確認する。五感を使って、(自分よりも優先して)環境や他者を感じることができる。
9		講義・演習	あなたわたしゲーム(実践及び応用)、ミラーエクササイズ(説明と体験) 五感呼び覚ますエクササイズ(実践及び応用)	演技をする上で必要となる能力、技術についてゲームを通して確認する。五感を使って、(自分よりも優先して)環境や他者を感じることができる。
10		講義・演習	あなたわたしゲーム(実践及び応用)、レベテション(説明及び体験) セリフのないシーン1(説明及び実践／皆の前で一人一人実施)	演技をする上で必要となる能力、技術についてゲームを通して確認する。他者の中で、緊張せずに、一人で、存在することができる。
11		講義・演習	あなたわたしゲーム(実践及び応用)、レベテション(実践) セリフのないシーン2(説明及び実践／皆の前で一人一人実施)	演技をする上で必要となる能力、技術についてゲームを通して確認する。他者の中で、緊張せずに、一人で、存在することができる。
12		講義・演習	あなたわたしゲーム(実践及び応用)、レベテション(実践) ショートシーン1(説明及び実践／皆の前でペアごとに実施)	演技をする上で必要となる能力、技術についてゲームを通して確認する。他者の中で、(自分よりも優先して)相手や環境を感じることができる。
13		講義・演習	あなたわたしゲーム(実践及び応用)、レベテション(実践) ショートシーン2(説明及び実践／皆の前でペアごとに実施)	演技をする上で必要となる能力、技術についてゲームを通して確認する。他者の中で、(自分よりも優先して)相手や環境を感じることができる。
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			都度講義内容の振り返り・次回講義に向けての課題を指示する	
【使用教科書・教材・参考書】				
配布されたテキスト、筆記用具、動きやすい服装で参加				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷・東京ダンス・俳優＆舞台芸術専門学校

科目名	アクティング基礎2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	大谷章 文
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一						
教員の略歴	俳優・演技学校アクターズクリニックにて、演技講師 23年						
授業の学習 内容	自身の感性を扱う「俳優」という職業を、実際に行われているトレーニングを通して追体験することで、自己評価の再確認と、コミュニケーション能力を磨く。本授業はワークショップ形式で、随時自らが体験していく。						
到達目標	演技をする上で必要コミュニケーションをとり、他者の中で、(自分よりも優先して)相手や環境を感じることができるようになる。 想像力を使い、指定された状況・設定の中で自分として存在することができるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	センスワーク、オブジェクトワーク、ファーストインプレッション	前期の復習 環境を五感で感じることができる。
2		講義・演習	センスワーク、インディペンデントアクティビティ、レベション	自意識を排除してパートナーを感じることができる。
3		講義・演習	プライベートモーメント	喜怒哀楽といった感情を自分として体験することができる。
4		講義・演習	インプロ(なにやってるのゲーム)、ショートシーン(説明及び実践／皆の前でペアごとに実施)	演技を実践するにあたり、常に「目的」と「アクション」を設定することができる。 台本の読み込み
5		講義・演習	インプロ(なにやってるのゲーム)、ショートシーン(説明及び実践／皆の前でペアごとに実施)	演技を実践するにあたり、常に「目的」と「アクション」を設定することができる。 台本の読み込み
6		講義・演習	インプロ(なにやってるのゲーム)、ショートシーン(説明及び実践／皆の前でペアごとに実施)	演技を実践するにあたり、常に「目的」と「アクション」を設定することができる。 台本の読み込み・練習
7		講義・演習	ショートシーン(説明及び実践／皆の前でペアごとに実施)	先入観にとらわれずに自分らしくショートシーンをこなすことができる。 台本の読み込み・練習
8		講義・演習	ショートシーン(説明及び実践／皆の前でペアごとに実施)	先入観にとらわれずに自分らしくショートシーンをこなすことができる。
9		講義・演習	ショートシーン(説明及び実践／皆の前でペアごとに実施)	先入観にとらわれずに自分らしくショートシーンをこなすことができる。 感情を思い起こして、リアルな表現を行えるようになる。
10		講義・演習	ショートシーン(説明及び実践／皆の前でグループごとに実施)	先入観にとらわれずに自分らしくショートシーンをこなすことができる。 感情を思い起こして、リアルな表現を行えるようになる。
11		講義・演習	ショートシーン(説明及び実践／皆の前でグループごとに実施)	自分らしくショートシーンをこなし、リアルな演技を行えるようになる。 相手とのコミュニケーションをとり、嘘のないシーンづくりを目指す。
12		講義・演習	ショートシーン(説明及び実践／皆の前でグループごとに実施)	自分らしくショートシーンをこなし、リアルな演技を行えるようになる。 相手とのコミュニケーションをとり、嘘のないシーンづくりを目指す。 2年生への課題を出すことができる。
13		講義・演習	海外実学研修を通じ、海外の演技法と日本の演技法を比較検討する。 ワークの実践	
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			都度講義内容の振り返り・次回講義に向けての課題を指示する	
【使用教科書・教材・参考書】				
配布されたテキスト、筆記用具、動きやすい服装で参加				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷・東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校

科目名	発声滑舌1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩永哲 哉
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一						
教員の略歴	声優として新世紀エヴァンゲリオン(相田ケンスケ役)・遊☆戯☆王デュエルモンスターズ(マリク役)・魔法少女まどか☆マギカ(鹿目知久役)などに出演。TSMにて発声滑舌演技講師 8年						
授業の学習 内容	発声、滑舌、外郎売り、朗読、台詞の訓練を行います。 歌舞伎の台本である「外郎売」を通じて、発声・滑舌の必要性と、感情解放のコツをつかみます。 繰り返し演習を行い、また、クラスメイトの課題も自身のものにできる人材を育てます。						
到達目標	声優(俳優)の基礎である発声・滑舌を学び、表現力への一歩を踏み出せるようになる。 他人の良いところを盗み、悪いところを自身の技術向上に役立てるように反映させられるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	声優・俳優という職業について 授業内容についての説明・自己紹介	腹式呼吸の練習
2		講義・演習	腹式呼吸① 自己解放とは 外郎売りについて歴史から学ぶ	腹式呼吸の練習
3		講義・演習	腹式呼吸② 自己解放ワーク 外郎売り①イントネーションを確認する	腹式呼吸の練習
4		講義・演習	腹式呼吸③ 自己解放ワーク 外郎売り②イントネーションを確認する	腹式呼吸の暗記
5		講義・演習	腹式呼吸④ 自己解放ワーク 外郎売り③イントネーションを確認する	腹式呼吸の暗記
6		講義・演習	腹式呼吸⑤ 自己解放ワーク 外郎売り④イントネーションを確認する	腹式呼吸の暗記
7		講義・演習	腹式呼吸⑥ 自己解放ワーク 外郎売り⑤イントネーションを確認する	腹式呼吸の暗記
8		講義・演習	腹式呼吸⑦ 自己解放ワーク 外郎売り前半部分を通して演じる方法を学ぶ	腹式呼吸の暗記
9		講義・演習	腹式呼吸⑧ 自己解放ワーク 外郎売り後半部分を通して演じる方法を学ぶ	腹式呼吸の暗記
10		講義・演習	腹式呼吸⑨ 自己解放ワーク 外郎売り全体を通して演じ切る発声法を学ぶ	腹式呼吸を意識しながら外郎売を練習
11		講義・演習	外郎売り発表① 一人ひとり外郎売を演じる	腹式呼吸を意識しながら外郎売を練習
12		講義・演習	外郎売り発表② 一人ひとり外郎売を演じる	滑舌の苦手な箇所の練習
13		講義・演習	前週の反省点を振り返る 一人ひとりの課題を発見する	
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
アクセント辞典				

科目名	発声滑舌2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩永哲 哉
学科・コース	メディア&テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	声優として新世紀エヴァンゲリオン(相田ケンスケ役)・遊☆戯☆王デュエルモンスターズ(マリク役)・魔法少女まどか☆マギカ(鹿目知久役)などに出演。TSMにて発声滑舌演技講師 8年						
授業の学習 内容	発声、滑舌、外郎売り、朗読、台詞の訓練。 絵本の朗読。一冊の絵本を14ブロックに分け、毎週1ブロックずつ練習。 前期で修得した、他人から技術を盗むことはそのままに、自身の発声・滑舌・表現のスキルを更に向上させていきます。						
到達目標	声優(俳優)の基礎である発声・滑舌を学び、表現力への一歩を踏み出せるようになる。 前期習得した発声・滑舌を活かし、表現力を習得できるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	脚本解釈について これから課題となる絵本題材について説明	台本の読み込み
2		講義・演習	絵本の朗読① 14-1パートを細かく説明・演習を行う	登場人物のイメージ作り
3		講義・演習	絵本の朗読② 14-2パートを細かく説明・演習を行う	登場人物のイメージ作り
4		講義・演習	絵本の朗読③ 14-3パートを細かく説明・演習を行う	登場人物のイメージ作り
5		講義・演習	絵本の朗読④ 14-4パートを細かく説明・演習を行う	登場人物のイメージ作り
6		講義・演習	絵本の朗読⑤ 14-5パートを細かく説明・演習を行う	登場人物のイメージ作り
7		講義・演習	絵本の朗読⑥ 14-6パートを細かく説明・演習を行う	登場人物のイメージ作り
8		講義・演習	絵本の朗読⑦ 14-7パートを細かく説明・演習を行う	登場人物のイメージ作り
9		講義・演習	絵本の朗読⑧ 14-8パートを細かく説明・演習を行う	登場人物のイメージ作り
10		講義・演習	絵本の朗読⑦ 14-9～10パートを細かく説明・演習を行う	登場人物のイメージ作り
11		講義・演習	絵本の朗読⑧ 14-11～12パートを細かく説明・演習を行う	登場人物のイメージ作り
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
14		講義・演習	絵本の朗読 14-13～14パートを細かく説明・演習を行う	登場人物のイメージ作り
15		講義・演習	クラス内で全編披露を実施	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
アクセント辞典				

科目名	映像アクティング1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	山口 晃
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	桐朋学園大学短期大学部芸術科演劇コース卒。劇団青年座所属(42年)、俳優・演出家として活躍。						
授業の学習 内容	既存の脚本とビデオカメラを使用し、映像に対応できる演技を学ぶ						
到達目標	・カメラ前で演技をする事に慣れ、少しでも自分の考えた通りに動けるようになる。 ・現状の自分と、なりたい自分をしっかり自覚できるようになる。 ・演技が楽しいと感じ、この役を演じてみたいと自ら積極性を持てるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介	1年後どうなりたいか自ら考える
2		講義・演習	エチュード① 与えられた設定の中で表現を行う	クラス内での緊張をなくす
3		講義・演習	エチュード② 前週で出た感情を活かして、表現を膨らませる	クラス内での緊張をなくす
4		講義・演習	カメラの前で台詞を言うしてみる	カメラ前での緊張をなくす
5		講義・演習	自分の芝居を見てみる① 演技を映像に撮影して、観る	台詞について考えられるようになる
6		講義・演習	相手と芝居をする/本読み① 台本の読み方について	相手と芝居が作れるようになる
7		講義・演習	相手と芝居をする/本読み② 前週で感じた内容を深く探る	相手と芝居が作れるようになる
8		講義・演習	相手と芝居をする/立ち稽古① 自主稽古を行った演技を披露	パートナーと自主稽古を行う
9		講義・演習	相手と芝居をする/立ち稽古② ディレクション(演出)を受ける	パートナーと自主稽古を行う
10		講義・演習	カメラの前で芝居をする	カメラ前での緊張をなくす
11		講義・演習	自分の芝居を見てみる② 視聴者目線でのフィードバック	自分を客観的に見れるようになる
12		講義・演習	大人数で芝居をする/本読み① 共演者とコミュニケーションを取る	2人以上の相手と芝居が作れるようになる
13		講義・演習	大人数で芝居をする/本読み② 演出を踏まえた表現の構築	イメージトレーニングを行う
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			①レポート	
【使用教科書・教材・参考書】				
参考書「映画の演技」 マイケル・ケイン著 劇書房				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷・東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校

科目名	映像アクティング2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	山口 晃
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	桐朋学園大学短期大学部芸術科演劇コース卒。劇団青年座所属(42年)、俳優・演出家として活躍。						
授業の学習 内容	既存の脚本とビデオカメラを使用し、映像に対応できる演技を学ぶ						
到達目標	・カメラ前で演技をする事に慣れ、少しでも自分の考えた通りに動けるようになる ・現状の自分と、なりたい自分をしっかり自覚できるようになる。 ・演技が楽しいと感じ、この役を演じてみたいと自ら積極性を持てるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	大人数で芝居をする/立ち稽古① 台本の読み方・共演者の演技を感じる	2人以上の相手と芝居が作れるようになる
2		講義・演習	大人数で芝居をする/立ち稽古② 演出の意図を探る	2人以上の相手と芝居が作れるようになる
3		講義・演習	大人数で芝居をする/立ち稽古③ ドラマの現場での進行について	2人以上の相手と芝居が作れるようになる
4		講義・演習	大人数で芝居をする/立ち稽古④ 映画の現場での進行について	2人以上の相手と芝居が作れるようになる
5		講義・演習	カメラの前で芝居をする① カメラに対しての演技法	カメラ前での緊張をなくす
6		講義・演習	自分の芝居を見してみる① 視聴者が共感できる演技を目指す	自分を客観的に見れるようになる
7		講義・演習	相手と芝居をする/本読み① リアルな感情表現を学ぶ	相手と芝居が作れるようになる(前期より高いレベルで)
8		講義・演習	相手と芝居をする/本読み② 感情解放の上で脚本に寄りそう	相手と芝居が作れるようになる(前期より高いレベルで)
9		講義・演習	相手と芝居をする/立ち稽古① 脚本を手放したリアルな演技を目指す	相手と芝居が作れるようになる(前期より高いレベルで)
10		講義・演習	相手と芝居をする/立ち稽古② 視聴者が共感するリアルな演技を目指す	相手と芝居が作れるようになる(前期より高いレベルで)
11		講義・演習	相手と芝居をする/立ち稽古③ 共演者と共に、リアルな演技を目指す	相手と芝居が作れるようになる(前期より高いレベルで)
12		講義・演習	カメラの前で芝居をする② いまに集中する	カメラ前での緊張をなくす
13		講義・演習	自分の演技に自分でダメ出しができるようになる	自分を客観的に見れるようになる
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			①レポート	
【使用教科書・教材・参考書】				
参考書「映画の演技」 マイケル・ケイン著 劇書房				

科目名	声優基礎1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中山知佳
学科・コース	メディア＆テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	2002年より、舞台を中心に活動。2005年声優として活動開始。2014年4月よりアップアンドアップスに所属。2015年より紙芝居師として活動中。						
授業の学習 内容	声優に必要な心構えや考え方、マナー、演技の基礎を学ぶ。 2年生から実施されるアフレコ演習に向けて、台本の基礎知識と、キャラクターに応じた適切な表現を学ぶ。 感情を開放し、自己の先にある表現を身に着けるためのトレーニングを学ぶ。						
到達目標	「声優」という職業に必要な考え方、スキル、表現力を身に付ける。自分の声を知り、適切な役が演じられるようになる。 そのために必要な発声滑舌スキルを自身のものとして扱えるようになる。 声優に必要な「好感度の高い」対人コミュニケーション力とマナーを身につけ扱えるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介、自己PR	好きな声優がどのような作品・役を演じるかを知る
2		講義・演習	感情解放① 「恥ずかしさ」を乗り越える	感情解放ワークを日常的に取り入れてみる
3		講義・演習	感情解放② 人前で表現することを知る	感情解放ワークを日常的に取り入れてみる
4		講義・演習	感情解放③ 実体験を思いだし、表現する	感情解放ワークを日常的に取り入れてみる フリートークテーマについて考える
5		講義・演習	フリートーク① 初めてのフリートーク演習	フリートークテーマについて研究する
6		講義・演習	エチュード① 初めてのエチュード演習	即興で演じることを仲間たちと日常的に行ってみる
7		講義・演習	実演① 課題に対して表現を行う	次週に向けて、さらに表現を磨く
8		講義・演習	実演② ディレクション(演出)を受ける	ディレクションの意味を理解するため、研鑽を行う
9		講義・演習	フリートーク② テーマに応じたフリートーク	フリートークのコツをつかむ 好きな声優のトークショー動画を見て研鑽を行う
10		講義・演習	エチュード② テーマに応じたエチュード	共演者の表現を感じ、自分の立ち位置を鑑みる
11		講義・演習	台本読解、立体化① アフレコ台本の配布、読み方について	台本を読みこんでくる
12		講義・演習	台本読解、立体化② 立体化(声でリアルに表現ができる)ことを学ぶ	台本を読みこんでくる テスト課題の準備
13		講義・演習	フリートーク、実演、振り返り、総括	後期に向けた自身の課題と、「やりたいこと」「できること」の違いに気づく
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			母音法の練習を実施する	
【使用教科書・教材・参考書】				
ノート、筆記用具				

科目名	声優基礎2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中山知佳
学科・コース	メディア＆テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	2002年より、舞台を中心に活動。2005年声優として活動開始。2014年4月よりアップアンドアップスに所属。2015年より紙芝居師として活動中。						
授業の学習 内容	声優に必要な心構えや考え方、マナー、演技の基礎を学ぶ。 2年生から実施されるアフレコ演習に向けて、台本の基礎知識と、キャラクターに応じた適切な表現を学ぶ。 感情を開放し、自己の先にある表現を身に着けるためのトレーニングを学ぶ。						
到達目標	「声優」という職業に必要な考え方、スキル、表現力を身に付ける。自分の声を知り、適切な役が演じられるようになる。 そのために必要な発声滑舌スキルを自身のスキルとして扱えるようになる。 声優に必要な「好感度の高い」対人コミュニケーション力とマナーを身につけ扱えるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	フリートーク③ 後期の意気込み、最近あったことについて	前期からの自分の成長に気づく
2		講義・演習	台本読解、立体化③ 自分が不足している技術に気づく	不足を感じているところを磨く(発声・滑舌・キャラクター研究)
3		講義・演習	台本読解、立体化④ 自身にしか演じられない役に気づく	「やりたいこと」「できること」の違いに気づく
4		講義・演習	台本チェンジ 読解、立体化⑤キャラクター考察	キャラクターを考察し、先輩声優から研究する
5		講義・演習	台本読解、立体化⑥ ディレクションを踏まえた立体化	距離感を踏まえた表現の練習
6		講義・演習	台本読解、立体化⑦ 台本に書かれた内容を考察する	感情を踏まえた表現の練習
7		講義・演習	台本読解、立体化⑧ 心の距離感について	距離感、感情を踏まえた表現の練習
8		講義・演習	台本読解、立体化⑨ 演じるキャラクターの立ち位置について	キャラクターの個性を踏まえた表現の練習
9		講義・演習	台本読解、立体化⑩ キャスティングを受ける	ここまで実践してきたことを踏まえた表現の練習
10		講義・演習	フリートーク、実演① キャスティングを受け、消化する	キャスティングされた意味を考え、演じる
11		講義・演習	台本読解、立体化⑪ ディレクションの意味	ここまで実践してきたことを踏まえた表現の練習
12		講義・演習	フリートーク、実演② 客観的視点を持ち演じられるようになる	自分の中での事前準備を当たり前に行う
13		講義・演習	台本読解、立体化⑫ 振り返り、総括	ここまで実践してきたことを踏まえた表現の練習
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			母音法の練習を実施する	
【使用教科書・教材・参考書】				
ノート、筆記用具				

科目名	ナレーション1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	長谷川歩
学科・コース	メディア＆テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	子役、演劇大学を経て声優・ナレーターとして活動。劇団主宰もしており演出、執筆経歴もあり。芸歴23年。						
授業の学習 内容	正しい日本語を学び、ナレーション原稿を読むことで、原稿の意図や自己演出で試行錯誤する。CM、ラジオCM、バラエティ、ドキュメント、ニュース、吹き替え、朗読など多岐に渡るナレーションの模擬演習を行い、適性やチャレンジ精神を育みます。						
到達目標	正しい日本語の基礎、文章の読解力、演技力を用いて、自分の声質やパーソナリティを含んだ適性を掴めるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習 (学習課題)
1		講義・演習	ナレーションとは何かのレクチャー、生徒の自己紹介など	自身の読みたい作品を2つ、次回提出
2		講義・演習	教材と生徒が選んできた作品を統合し、ナレーション演習	自身が選択した作品の読みこみ
3		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける① 発声滑舌に気を付けて読む	自身が選択した作品の読みこみ
4		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける② 他人のダメ出しを自分のものにする	自身が選択した作品の読みこみ
5		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける③ 強調する箇所とその効果	自身が選択した作品の読みこみ
6		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける④ 起承転結の表現について	自身が選択した作品の読みこみ
7		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける⑤ 作品の前後間を考える	自身が選択した作品の読みこみ
8		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける⑥ 他人の原稿を聞き、良い点を自分に反映させる	自身が選択した作品の読みこみ
9		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける⑦ 改めて発声滑舌について気を付けて発表をする	自身が選択した作品の読みこみ
10		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける⑧ タイトルの重要性	自身が選択した作品の読みこみ
11		講義・演習	演習、アドバイスを経て各自の課題に向かい、録音テスト① マイクワークを学ぶ	自身が選択した作品の読みこみ 録音した音源を聞いてみる
12		講義・演習	演習、アドバイスを経て各自の課題に向かい、録音テスト② マイクを通して演じられた自分のナレーションを客観的に判断	自身が選択した作品の読みこみ 録音した音源を視点を上げ聞いてみる
13		講義・演習	テストを経て、各生徒にレクチャーとヒアリングを行う	後期に向けた、自身の課題に気づく
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
指定されたナレーション原稿、朗読台本を用意すること				

科目名	ナレーション2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	長谷川歩
学科・コース	メディア＆テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	子役、演劇大学を経て声優・ナレーターとして活動。劇団主宰もしており演出、執筆経歴もあり。芸歴23年。						
授業の学習 内容	正しい日本語を学び、ナレーション原稿を読むことで、原稿の意図や自己演出で試行錯誤する。CM、ラジオCM、バラエティ、ドキュメント、ニュース、吹き替え、朗読など多岐に渡るナレーションの模擬演習を行い、適性やチャレンジ精神を育みます。						
到達目標	正しい日本語の基礎、文章の読解力、演技力を用いて、自分の声質やパーソナリティを含んだ適性を掴めるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	「架空のラジオCM」を作成するためエチュードを行う	題材についてヒアリング
2		講義・演習	エチュードを元に原稿作成① グループで話し合う	どんなCMにするか話し合う
3		講義・演習	エチュードを元に原稿作成② 話し合った内容の起承転結を考える	プロットを描く
4		講義・演習	エチュードを元に原稿作成③ 演じるキャラクターとナレーション部を考える	台本を完成させる
5		講義・演習	原稿を用いキャスティングし録音、演出指導。① 録音したCMを聞き、改良点を話し合う	収録音源を聞く
6		講義・演習	原稿を用いキャスティングし録音、演出指導。② 聞き手にわかりやすく伝わる表現について考える	収録音源を聞き、チームでディスカッション 収録に向けて準備をする
7		講義・演習	録音、編集① 編集されることを考えた収録について	収録に向けて準備をする
8		講義・演習	録音、編集② 短い時間で高いクオリティのCMを収録するためには	収録で感じたことを踏まえ、現在放送されているラ ジオCMを聞く
9		講義・演習	録音し編集した完成パッケージを視聴しヒアリング	聴いた音源に対して客観的に修正点を理解できる ようになる
10		講義・演習	映像に当てるナレーションの講義、題材紹介	映像とラジオCMの違いについて学び、実際の の映像を見、研究する
11		講義・演習	映画予告、ドキュメント、ニュース、バラエティなど演習① あらゆるナレーションにチャレンジ	状況に応じたナレーションの違いに気づく
12		講義・演習	映画予告、ドキュメント、ニュース、バラエティなど演習② 自分に適性の高いナレーションを知る	状況に応じたナレーションの違いに気づく
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	各ジャンルを演習しての総括、質疑応答など	自身の適正に気づき、2年生に向けチャレン ジしたいジャンルを絞り込む
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
指定されたナレーション原稿、朗読台本を用意すること				

科目名	発声・ボディートレーニング1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	山口 晃
学科・コース	メディア＆テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	桐朋学園大学短期大学部芸術科演劇コース卒。劇団青年座所属(42年)、俳優・演出家として活躍。						
授業の学習 内容	ストレッチ・体力作り ウラ声・オモテ声による発声練習・滑舌練習 インプロゲーム・シアターゲームを行う						
到達目標	自分がイメージした声・滑舌ができるようになる 腹式呼吸ができるようになる 相手に声が届くようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	発声について・メカニズム、腹式呼吸	呼吸の体操を実践 (発声に備えてのテキスト予習)
2		講義・演習	ストレッチ・呼吸の体操・声を出す	呼吸の体操を実践
3		講義・演習	ストレッチ・体力作り・発声(イエアオウ)	筋トレ・授業の復習
4		講義・演習	ストレッチ・発声(ウラ声、オモテ声)	ストレッチの順番を覚えてくる
5		講義・演習	ストレッチ・発声・ ストレッチリーダーを決める	自分たちだけでストレッチを行う 授業の復習
6		講義・演習	ストレッチ・発声・ シアターゲーム・滑舌	早口言葉の練習
7		講義・演習	ストレッチ・発声・ 滑舌(外郎売り)	外郎売りを読む・覚える
8		講義・演習	ストレッチ・発声・ シアターゲーム・滑舌	外郎売り覚える
9		講義・演習	ストレッチ・発声・ シアターゲーム・滑舌	外郎売り覚える
10		講義・演習	ストレッチ・発声・滑舌(テスト課題)	呼吸の練習・外郎売を覚え練習
11		講義・演習	ストレッチ・発声・滑舌(テスト課題)	呼吸の練習・外郎売を覚え練習
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	テスト(外郎売りの発表)	反省、振り返りをし課題を見つける
14		講義・演習	ストレッチ・発声・テストの反省会	後期に向け、反復練習
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
iPad教材「発声・滑舌教本」／外郎売り原稿				

科目名	発声・ボディートレーニング2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	山口 晃
学科・コース	メディア＆テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	桐朋学園大学短期大学部芸術科演劇コース卒。劇団青年座所属(42年)、俳優・演出家として活躍。						
授業の学習 内容	ストレッチ・発声 インプロゲーム・シアターゲームを行う 戯曲の一部の場面のセリフによる演技						
到達目標	自分がイメージした声・滑舌ができるようになる 相手に声が届くようになる 状況に応じた声が出るようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム	呼吸の体操を实践 (発声に備えてのテキスト予習)
2		講義・演習	ストレッチ・発声・ 短いテキストの配布、説明	台本を読んでくる
3		講義・演習	ストレッチ・発声・前回配布台本の本読み	台本を読んでくる
4		講義・演習	ストレッチ・発声・台本の本読み① 「台本」とは	台本を読んでくる
5		講義・演習	ストレッチ・発声・台本の本読み② 発声を活かした台本読み	台本を読んでくる
6		講義・演習	ストレッチ・発声・台本の本読み③ 滑舌を活かした台本読み	台本を読んでくる
7		講義・演習	ストレッチ・発声・台本の本読み④ 外郎売りとは	外郎売りを読む・覚える
8		講義・演習	ストレッチ・発声・台本の本読み⑤ 外郎売りのポイント指導	外郎売りを知る
9		講義・演習	ストレッチ・発声・立ち稽古① 立稽古に必要な心構え	動きを知る
10		講義・演習	ストレッチ・発声・立ち稽古② 演出について考える	役を表現するための演技の練習
11		講義・演習	ストレッチ・発声・立ち稽古③ 相手役とのコミュニケーション	役を表現するための演技の練習
12		講義・演習	ストレッチ・発声・テスト	反省、振り返りをし課題を見つける
13		講義・演習	ストレッチ・発声・テストの反省会	感想文を書く
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
iPad教材「発声・滑舌教本」／演技テキスト台本				

科目名	殺陣1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	所博昭
学科・コース	メディア＆テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	アクション俳優、スタントマン、技斗として活動して30年						
授業の学習 内容	立ちっぱなし、座りっぱなしで演技は出来ません。転んだり、倒れたり、突き飛ばされたりといった動きを怪我無く何 度も繰り返し演じなければならないことは数多くあります。マットを使って転がり方から身の守り方である受け身の 取り方を身に付けます。						
到達目標	倒れる、倒す演技を安全かつ臨場感を失うことなく演じることが出来る様になる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	注意事項説明、自己紹介(将来のイメージづくり)、アクションとは…、	柔軟、筋トレ
2		講義・演習	マット運動(前転)	前週の復習、柔軟、筋トレ
3		講義・演習	マット運動(右起き上がり)	前週の復習、柔軟、筋トレ
4		講義・演習	マット運動(左起き上がり)	前週の復習、柔軟、筋トレ
5		講義・演習	マット運動(右受け身)、投げ飛ばし	前週の復習、柔軟、筋トレ
6		講義・演習	マット運動(左受け身)、投げ飛ばし	前週の復習、柔軟、筋トレ
7		講義・演習	マット運動(横転)、投げ飛ばし	前週の復習、柔軟、筋トレ
8		講義・演習	マット運動(後転)	前週の復習、柔軟、筋トレ
9		講義・演習	マット運動(アクション用後転)、突き飛ばし	前週の復習、柔軟、筋トレ
10		講義・演習	受け身、起き上がり、横転の組み合わせ	前週の復習、柔軟、筋トレ
11		講義・演習	その場に崩れ落ちる、倒れる	前週の復習、柔軟、筋トレ
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	取っ組み合い、揉み合いを演じてみよう	前週の復習、柔軟、筋トレ
14		講義・演習	殺人事件を演じてみよう	前週の復習、柔軟、筋トレ
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			興味のある声優のボイスサンプルを各事務所ホームページから試聴し、研鑽する	
【使用教科書・教材・参考書】				
授業で配ったプリント類、筆記用具、録音機器				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷・東京ダンス・俳優＆舞台芸術専門学校

科目名	殺陣2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	所博昭
学科・コース	メディア＆テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	アクション俳優、スタントマン、技斗として活動して30年						
授業の学習 内容	日本の芸能界において「アクション」とは殴る、蹴る、極める、投げる、切る、撃つ等の暴力の表現を差します。前期を更に前半、後半に分けて前半は素手による殴り方、殴られ方、後半は時代劇で使う大刀の扱い方を木刀や竹光を使って学びます。						
到達目標	殴る、殴られるを痛みの表現として、剣は刃物として安全かつ臨場感を失うこと無く演じる事が出来るようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	拳の作り方、構え、空手の正拳突き	イメージトレーニング、筋トレ
2		講義・演習	アクション式殴り(顔、腹)、フック(顔、腹)	前週の復習、イメージトレーニング、筋トレ
3		講義・演習	リアクション(顔)	前週の復習、イメージトレーニング、筋トレ
4		講義・演習	リアクション(腹)	前週の復習、イメージトレーニング、筋トレ
5		講義・演習	空手の防御(上段受け、外受け、内受け)	前週の復習、イメージトレーニング、筋トレ
6		講義・演習	攻撃のかわし方(さばき、ダッキング)	前週の復習、イメージトレーニング、筋トレ
7		講義・演習	帯の結び方、刀の仕組み、抜刀、血振り、納刀	イメージトレーニング、筋トレ
8		講義・演習	素振り1(面、左右面、袈裟斬り)	前週の復習、イメージトレーニング、筋トレ
9		講義・演習	素振り2(抜き胴、突き、真っ向)	前週の復習、イメージトレーニング、筋トレ
10		講義・演習	打ち込み(空打ち～振り返りまで)	前週の復習、イメージトレーニング、筋トレ
11		講義・演習	打ち込み～剣を払われる	前週の復習、イメージトレーニング、筋トレ
12		講義・演習	剣を捌く、払う	前週の復習、イメージトレーニング、筋トレ
13		講義・演習	斬られたリアクションと戦ってみよう	前週の復習、イメージトレーニング、筋トレ
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			興味のある声優のボイスサンプルを各事務所ホームページから試聴し、研鑽する	
【使用教科書・教材・参考書】				
授業で配ったプリント類、筆記用具、録音機器				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷・東京ダンス・俳優＆舞台芸術専門学校

科目名	ボイスサンプル制作1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	平山笑美
		授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一						
教員の略歴	映画「ダヤンとジタン」ジタン役、アニメ「異世界はスマートフォンとともに。」レイン役、ゲーム「アイドルマスター ミリオンライブ!」北上麗花役などで活躍する声優。2014年からDA東京にてボイスサンプルの作成方法の講義を担当。						
授業の学習 内容	ボイスサンプルは声の仕事を獲得する上で、この先ずっと必要不可欠なものです。 講義を通して、ボイスサンプルとはなにか、難しく考えずに自分でボイスサンプルを作るポイントを押さえ、 発表を通して、今の自分の実力の中からどれがベストかを見つけていきます。						
到達目標	(1)ボイスサンプルが声の仕事をする人にとって、どの位重要なのか理解し、扱えるようになる。 (2)ボイスサンプルの基本的な作り方を学び、実践して自分なりに工夫しながらサンプルを作ることができるようになる。 (3)ボイスサンプルの作成・発表を通して、自分がやりたい事と、出来る事の整理ができるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	自己紹介。今後の授業の説明など	
2		講義	ボイスサンプルとはなにか？ 声優の仕事と照らし合わせながら、プリントを使って理解を深めます。	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
3		講義	ボイスサンプルを作るときのポイントを学んでいきます。	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
4		講義・演習	課題のセリフを使って自分なりに考えた構成で発表。 サンプル作成のポイントを掴む	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
5		講義・演習	前回の授業の反省点を改善できるように課題のセリフを使って発表。	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
6		講義・演習	自分でサンプルの原稿を作るにあたっての注意など。	授業内で配ったプリントを持参
7		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。① 自分に合ったサンプル原稿を知る	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
8		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。② 前週のブラッシュアップを行い、細かな発声滑舌について知る	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
9		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。③ 表現する上で必要な感情解放について学ぶ	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
10		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。④ 前週の課題に加え、聞く企業を考えた構成を考える	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
11		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。夏休み明けの課題などの講義	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	夏休みの課題提出。発表。① 課題へのブラッシュアップ。他の人のアドバイスも含め、研鑽する	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
14		講義・演習	夏休みの課題提出。発表。② 後期に向けて、自分が得意なキャラクターを定める	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			興味のある声優のボイスサンプルを各事務所ホームページから試聴し、研鑽する	
【使用教科書・教材・参考書】				
授業で配ったプリント類、筆記用具、録音機器				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷・東京ダンス・俳優＆舞台芸術専門学校

科目名	ボイスサンプル制作2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	平山笑美
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	映画「ダヤンとジタン」ジタン役、アニメ「異世界はスマートフォンとともに。」レイン役、ゲーム「アイドルマスター ミリオンライブ」北上麗花役などで活躍する声優。2014年からDA東京にてボイスサンプルの作成方法の講義を担当。						
授業の学習 内容	ボイスサンプルは声の仕事を獲得する上で、この先ずっと必要不可欠なものです。 講義を通して、ボイスサンプルとはなにか、難しく考えずに自分でボイスサンプルを作るポイントを押さえ、 発表を通して、今の自分の実力の中からどれがベストかを見つけていきます。 さらに、新人発掘オーディションに提出できるようなサンプルの作成を目指します。						
到達目標	(1) 自分なりに工夫しながらサンプルを作ることができるようになる。 (2) ボイスサンプルの作成・発表を通して、自分がやりたい事と、出来る事の整理が出来るようになる。 (3) より自分のアピールポイントを詰め込んだサンプルづくりを目指し、オーディションに対応できるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。① 自分が「やりたい」ではなく「やれる」キャラクターを定める	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
2		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。② 自分が「やれる」キャラクターを演じるためのスキルを学ぶ	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
3		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。③ 原稿の構成を見直し、よりよいサンプル作りを目指す	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
4		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。④ サンプルの並べ順を考えながら、強弱をつける	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
5		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。⑤ ボイスサンプルの効果的な聞かせ方について知る	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
6		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。⑥ 「自分の名前」について	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
7		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。⑦ 目指す事務所を研究し、ふさわしい原稿を考える	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
8		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。⑧ 前週考えた原稿をブラッシュアップする	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
9		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。⑨ ナレーション原稿について	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
10		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。⑩ 前週に続き、ナレーションについて、細かな滑舌表現を考える	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
11		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。⑪ 冬休み明けについて	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
12		講義・演習	冬休み中に作った原稿を提出。発表① 最終学年にふさわしいボイスサンプルを研鑽する	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
13		講義・演習	冬休み中に作った原稿を提出。発表② 間もなく迫る所属オーディション用ボイスサンプルを完成させる	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			興味のある声優のボイスサンプルを各事務所ホームページから試聴し、研鑽する	
【使用教科書・教材・参考書】				
授業で配ったプリント類、筆記用具、録音機器				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷・東京ダンス・俳優＆舞台芸術専門学校

科目名	オーディション対策 1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松尾真 実
学科・コース	メディア＆テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	96年東京コミュニケーションアート専門学校コミュニケーション科DJ・アナウンサーコース卒業在学中よりラジオ、DJとしてデビュー。 その後、DJ、MC、ナレーター、TV、バラエティー、ドラマ、舞台、雑誌、CMへの出演などマルチに活動 芸歴18年						
授業の学習 内容	卒業後の進路となる各プロダクションへ所属するため、また様々な作品へ出演するためのオーディションを受ける際のマナーや服装、メイクなどを学ぶ。また、プロフィールシートの作り方やオーディションでもっとも大事とされる自己PRをそれぞれの個性を活かし指導。各種オーディションで、自分の個性や持っている力を発揮し、合格出来るポイントを学ぶ。						
到達目標	自分の個性や特徴を知り、自信を持ってオーディションに臨み、自己PR出来るようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	プロフィールシート見直し	プロフィールシートの内容を見直す
2		講義・演習	模擬オーディションCM1 自己PRのコツ	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
3		講義・演習	模擬オーディションCM2 企業研究を行うこと	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
4		講義・演習	模擬オーディションテレビドラマ1 自己PRのコツ	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
5		講義・演習	模擬オーディションテレビドラマ2 作品・監督・共演者について知る	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
6		講義・演習	模擬オーディション映画1 自己PRのコツ	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
7		講義・演習	模擬オーディション映画2 作品・監督・共演者について知る	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
8		講義・演習	模擬オーディション舞台 作品・演出家について知る／2.5次元ミュージカルについて	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
9		講義・演習	模擬オーディションアニメ 作品・音響監督・共演者について知る	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
10		講義・演習	新人発掘に向けてのパフォーマンス作り1 自己PR30秒・パフォーマンス30秒作成	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
11		講義・演習	新人発掘に向けてのパフォーマンス作り2 入りたい事務所や劇団に合わせた内容作り	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
12		講義・演習	新人発掘に向けてのパフォーマンス作り3 自信持ってパフォーマンスができる心作り	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
13		講義・演習	新人発掘に向けてのパフォーマンス作り 卒業後のオーディションへの向き合い方について	
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			オーディションを受ける予定での服装・課題の準備。体調管理。	
【使用教科書・教材・参考書】				
毎回オーディションを意識した服装やメイクで授業へ参加。				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷／東京ダンス・俳優＆舞台芸術専門学校

科目名	パントマイム1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	江ノ上 陽二
		授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一						
教員の略歴	パントマイム歴 35年						
授業の学習 内容	パントマイムとは言語という具象行為を意図的に廃し言葉さえも肉体化する芸術である。それは、日常全ての言語を肉体化すること。そのためには肉体の緊張と弛緩、分解、重心移動、動くスピードのコントロールなどを習得する事が必須である。また、肉体訓練を継続して行い、演技者として人前に立つ為に不可欠な、想いを表現できる身体の獲得を目指す。 同時に、観察を基に無意識な日常行動における身体的動作の認識作業を行い、「動き」に「想い」を込め、独自の魅力的な所作を手に入れる。基本的なテクニックを身につけた上で、「無声」、「何もない空間」という状況の中で、想像力を駆使し身体だけの表現を体現出来るようにする。						
到達目標	正確なパントマイムテクニックの習得、また自由で型破りな想像力を獲得できるようになる。 身体だけで言葉を使わずに、自分の「想い」を他者に伝えることができるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	身体訓練、マイムウォーク、ロボット	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
2		講義・演習	身体訓練、胸のコントラクション、体重移動、表情のスピーディーな変化、マイムウォーク	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
3		講義・演習	身体訓練、胸のコントラクション、体重移動、表情のスピーディーな変化、マイムウォーク	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
4		講義・演習	身体訓練、胸のコントラクション、体重移動、表情のスピーディーな変化、マイムウォーク、ロボット	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
5		講義・演習	身体訓練、体重移動、表情の研究、マイムウォーク、ロボット	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
6		講義・演習	身体訓練、体重移動、表情の研究、マイムウォーク、ロボット	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
7		講義・演習	身体訓練、マイムウォークとロボット組み合わせによる場面の变化の習得	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
8		講義・演習	身体訓練、ストーリーの中のマイムウォーク、ロボットのオリジナル振付	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
9		講義・演習	身体訓練、決められた音楽、時間内でマイムウォークとロボットのテクニックを使った作品創作	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
10		講義・演習	実技テスト	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
11		講義・演習	実技テストでのパフォーマンス再演	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
12		講義・演習	身体訓練、壁のテクニックの基本	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
13		講義・演習	身体訓練、壁のテクニックの基本	振付したマイムを練習し、精度をあげる動画を撮影し、研鑽する
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
教科書は使用しない。動きやすい服装、ダンススニーカーで出席のこと。				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷・東京ダンス・俳優＆舞台芸術専門学校

科目名	パントマイム2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	江ノ上 陽 二
学科・コース	メディア＆テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	パントマイム歴 35年						
授業の学習 内容	パントマイムと言語という具象行為を意図的に廃し言葉さえも肉体化する芸術である。それは、日常全ての言語を肉体化すること。そのためには肉体の緊張と弛緩、分解、重心移動、動くスピードのコントロールなどを習得する事が必須である。また、肉体訓練を継続して行い、演技者として人前に立つ為に不可欠な、想いを表現できる身体の獲得を目指す。 同時に、観察を基に無意識な日常行動における身体的動作の認識作業を行い、「動き」に「想い」を込め、独自の魅力的な所作を手に入れる。基本的なテクニックを身につけた上で、「無声」、「何もない空間」という状況の中で、想像力を駆使し身体だけの表現を体現出来るようにする。						
到達目標	正確なパントマイムテクニックの習得、また自由で型破りな想像力を獲得できるようになる。 身体だけで言葉を使わずに、自分の「想い」を他者に伝えることができるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	身体訓練、壁のテクニックの応用	振付したマイムを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
2		講義・演習	身体訓練、壁のテクニックの応用	振付したマイムを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
3		講義・演習	身体訓練、壁のテクニックにドアーテクニックを追加する	振付したマイムを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
4		講義・演習	身体訓練、壁のテクニックにドアーテクニックを追加する	振付したマイムを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
5		講義・演習	身体訓練、決められた時間内で壁のテクニックを使用しストーリーを完成させる	振付したマイムを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
6		講義・演習	身体訓練、固定点のテクニックの習得	振付したマイムを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
7		講義・演習	身体訓練、固定点のテクニックの応用	振付したマイムを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
8		講義・演習	身体訓練、決められた時間内にて固定点のテクニックを使用しパフォーマンスを作り上げる	振付したマイムを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
9		講義・演習	身体訓練、決められた時間内にて固定点のテクニックを使用しパフォーマンスを作り上げる	振付したマイムを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
10		講義・演習	実技試験	振付したマイムを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
11		講義・演習	実技試験でのパフォーマンスの再演	振付したマイムを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
14		講義・演習	身体訓練、マイムウォーク、ロボット、壁、ドアー、固定点習得したテクニックでパフォーマンス作成	振付したマイムを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
15		講義・演習	身体訓練、マイムウォーク、ロボット、壁、ドアー、固定点習得したテクニックでパフォーマンス作成	振付したマイムを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
教科書は使用しない。動きやすい服装、ダンススニーカーで出席のこと。				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷・東京ダンス・俳優＆舞台芸術専門学校

科目名	舞台基礎1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	松尾真 実
学科・コース	メディア＆テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	96年東京コミュニケーションアート専門学校コミュニケーション科DJ・アナウンサーコース卒業在学中よりラジオ、DJとしてデビュー。 その後、DJ、MC、ナレーター、TV、バラエティー、ドラマ、舞台、雑誌、CMへの出演などマルチに活動 芸歴：18年						
授業の学習 内容	卒業後の進路となる各プロダクションへ所属するため、また様々な作品へ出演するためのオーディションを受ける際のマナーや服装、メイクなどを学ぶ。また、プロフィールシートの作り方やオーディションでもっとも大事とされる自己PRをそれぞれの個性を活かし指導。各種オーディションで、自分の個性や持っている力を発揮し、合格出来るポイントを学ぶ。						
到達目標	自分の個性や特徴を知り、自信を持ってオーディションに臨み、自己PR出来るようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業説明	授業を振り返り、心構えをする 各事務所のプロフィールシートを観る
2		講義・演習	プロフィールシートの作り方	特になし
3		講義・演習	服装やメイクのアドバイス	プロフィールシート作成
4		講義・演習	宣材写真アドバイス	衣装・メイクの用意
5		講義・演習	自己PR30秒の作り方① 構成を学ぶ	自己PRを作ってくる
6		講義・演習	自己PR30秒の作り方② 印象を持ってもらう構成を学ぶ	自己PRを作ってくる
7		講義・演習	自己PR30秒の作り方③ 印象を持ってもらうパフォーマンスを考える	自己PRを作ってくる
8		講義・演習	自己PR60秒の作り方④ 考えたパフォーマンスのクオリティチェック	自己PRを作ってくる
9		講義・演習	自己PR60秒の作り方⑤ 自分にできることを知る	自己PRを作ってくる
10		講義・演習	自己PR60秒の作り方⑥ 自分ができるとやりたいことのギャップを知る	自己PRを作ってくる
11		講義・演習	自己PR60秒の作り方⑦ やりたいことに向けた自己PRの構築	自己PRを作ってくる
12		講義・演習	自己PR60秒の作り方⑧ 衣装を含めたトータル的な自己PRを考える	自己PRを作ってくる
13		講義・演習	テスト	テスト振り返り
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			オーディションを受ける予定での服装・課題の準備。体調管理。	
【使用教科書・教材・参考書】				
毎回オーディションを意識した服装やメイクで授業へ参加。				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷／東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校

科目名	舞台基礎2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	松尾真 実
学科・コース	メディア＆テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	96年東京コミュニケーションアート専門学校コミュニケーション科DJ・アナウンサーコース卒業在学中よりラジオ、DJとしてデビュー。 その後、DJ、MC、ナレーター、TV、バラエティー、ドラマ、舞台、雑誌、CMへの出演などマルチに活動 芸歴：18年						
授業の学習 内容	卒業後の進路となる各プロダクションへ所属するため、また様々な作品へ出演するためのオーディションを受ける際のマナーや服装、メイクなどを学ぶ。また、プロフィールシートの作り方やオーディションでもっとも大事とされる自己PRをそれぞれの個性を活かし指導。各種オーディションで、自分の個性や持っている力を発揮し、合格出来るポイントを学ぶ。						
到達目標	自分の個性や特徴を知り、自信を持ってオーディションに臨み、自己PR出来るようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業説明	授業を振り返り、心構えをする 各事務所のプロフィールシートを観る
2		講義・演習	プロフィールシートの作り方	特になし
3		講義・演習	服装やメイクのアドバイス	プロフィールシート作成
4		講義・演習	宣材写真アドバイス	衣装・メイクの用意
5		講義・演習	自己PR30秒の作り方① 構成を学ぶ	自己PRを作ってくる
6		講義・演習	自己PR30秒の作り方② 印象を持ってもらう構成を学ぶ	自己PRを作ってくる
7		講義・演習	自己PR30秒の作り方③ 印象を持ってもらうパフォーマンスを考える	自己PRを作ってくる
8		講義・演習	自己PR60秒の作り方④ 考えたパフォーマンスのクオリティチェック	自己PRを作ってくる
9		講義・演習	自己PR60秒の作り方⑤ 自分にできることを知る	自己PRを作ってくる
10		講義・演習	自己PR60秒の作り方⑥ 自分ができるとやりたいことのギャップを知る	自己PRを作ってくる
11		講義・演習	自己PR60秒の作り方⑦ やりたいことに向けた自己PRの構築	自己PRを作ってくる
12		講義・演習	自己PR60秒の作り方⑧ 衣装を含めたトータル的な自己PRを考える	自己PRを作ってくる
13		講義・演習	テスト	テスト振り返り
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			オーディションを受ける予定での服装・課題の準備。体調管理。	
【使用教科書・教材・参考書】				
毎回オーディションを意識した服装やメイクで授業へ参加。				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷／東京ダンス・俳優＆舞台芸術専門学校

科目名	朗読2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩永哲哉
学科・コース	メディア &テクノロジー科 昼間部ー	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	声優として新世紀エヴァンゲリオン(相田ケンスケ役)・遊☆戯☆王デュエルモンスターズ(マリク役)・魔法少女まどか☆マギカ(鹿目知久役)などに出演。TSMにて発声滑舌演技講師 8年						
授業の学習 内容	うまく朗読するだけでは他に変わりはいます。自分らしい感性と表現力を持てるようになる。						
到達目標	脚本解釈ができるようになる。台詞に感情を乗せられるようになる。						
評価方法と基準							

授業計画・内容								
回数 回数	日程 日程	授業形態	授業形態	学習内容	学習内容	外学習(学習課題)	準備学習	時間外
1		講義・演習		自己紹介の実施。人前で自分をアピールできる。		緊張を克服する		
2		講義・演習		アクセント辞典の理解。アクセント記号を読解できるようになる。		アットランダムにアクセント辞典を開いて、初見で正しいアクセントを理解できるようにする。		
3		講義・演習		アクセント辞典の理解。アクセント記号を見て正しい発音ができる。		アットランダムにアクセント辞典を開いて、初見で正しいアクセントを発音できるようにする。		
4		講義・演習		朗読課題1。課題を正しいアクセントで読み上げる事ができる。		人前でもアクセントを間違わないようにする。		
5		講義・演習		朗読課題2。。課題の脚本解釈ができる。		脚本を読み込み、解釈を深める。		
6		講義・演習		朗読課題3。台詞に感情を込める事ができる。		、感情を大きく出すことを注意する。アクセント確認		
7		講義・演習		朗読課題4。課題の脚本解釈ができる。		脚本を読み込み、解釈を深める。		
8		講義・演習		朗読課題5。台詞に感情を込める事ができる		喜怒哀楽を意識し、感情を大きく出すことを意識する。アクセント確認		
9		講義・演習		朗読課題6。課題の脚本解釈ができる。		脚本を読み込み、解釈を深める。		
10		講義・演習		朗読課題7。台詞に感情を込める事ができる。		喜怒哀楽を意識し、感情を大きく出すことを意識する。アクセント確認		
11		講義・演習		朗読課題8。課題の脚本解釈ができる。		脚本を読み込み、解釈を深める。		
12		講義・演習		朗読課題9。台詞に感情を込める事ができる。		喜怒哀楽を意識し、感情を大きく出すことを意識する。アクセント確認		
13		講義・演習		朗読発表会。クラス内で課題を通して読めるようになる。		アクセント、台詞の感情など総合的に台本を意識して読める		
14		講義・演習		課外授業		内容は授業内で発表		
15		講義・演習		課外授業		内容は授業内で発表		
準備学習 時間外学習				前回までのアドバイスを踏まえ復習				
【使用教科書・教材・参考書】 アクセント辞典								

科目名	朗読2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩永哲哉
学科・コース	メディア &テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	声優として新世紀エヴァンゲリオン(相田ケンスケ役)・遊☆戯☆王デュエルモンスターズ(マリク役)・魔法少女まどか☆マギカ(鹿目知久役)などに出演。TSMにて発声滑舌演技講師 8年						
授業の学習 内容	前期の朗読経験を活かし、新たな素材でさらに表現力を磨けるようになる。						
到達目標	自分らしい脚本解釈ができるようになる。台詞に感情を乗せ人を惹きつけられるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容授業計画・内容					
回数回数	日程日程	授業形態授業形態	学習内容学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題) 準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	授業説明。授業内容を理解できる。	配布台本を読み込み理解を深める。	
2		講義・演習	朗読課題 1 課題の脚本解釈ができる。	脚本を読み込み、解釈を深める。	
3		講義・演習	朗読課題 2。台詞に感情を込める事ができる。	感情を入れて台本を読み込む。アクセント確認	
4		講義・演習	朗読課題 3。課題の脚本解釈ができる。	脚本を読み込み、解釈を深める。	
5		講義・演習	朗読課題 4。台詞に感情を込める事ができる。	感情を入れて台本を読み込む。アクセント確認	
6		講義・演習	朗読課題 5。課題の脚本解釈ができる。	脚本を読み込み、解釈を深める。	
7		講義・演習	朗読課題 6。台詞に感情を込める事ができる。	感情を入れて台本を読み込む。アクセント確認	
8		講義・演習	朗読課題 7。課題の脚本解釈ができる。	脚本を読み込み、解釈を深める。	
9		講義・演習	朗読課題 8。台詞に感情を込める事ができる。	感情を入れて台本を読み込む。アクセント確認	
10		講義・演習	朗読課題 9。課題の脚本解釈ができる。	脚本を読み込み、解釈を深める。	
11		講義・演習	朗読課題 1 0。台詞に感情を込める事ができる。	感情を入れて台本を読み込む。アクセント確認	
12		講義・演習	朗読課題11。台詞に感情を込める事ができる。	感情を入れて台本を読み込む。アクセント確認	
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表	
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表	
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表	
準備学習 時間外学習			前回までのアドバイスを踏まえ復習		
【使用教科書・教材・参考書】 アクセント辞典					

科目名	紙芝居1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中山知佳
学科・コース	メディア & テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	2002年より、舞台を中心に活動。2005年声優として活動開始。2014年4月よりアップアンドアップスに所属。2015年より紙芝居師として活動中。						
授業の学習 内容	紙芝居の表現を通して、エンターテイナーとしての基礎を学ぶ。人前に出て表現をすることを学ぶ。						
到達目標	紙芝居を通して、声だけでなく全身を使って表現できるようになる。人前で表現をできるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	自己紹介 授業説明	
2	4月24日	講義・演習	模範口演(特別講師:渋谷画劇団ヤムちゃん)	模範口演を観て感じたことをまとめる
3	5月8日	講義・演習	クイズ紙芝居、感情解放(特別講師:渋谷画劇団ヤムちゃん)	模範口演を観て感じたことをまとめる
4	5月15日	講義・演習	喜怒哀楽(感情コントロール)	感情コントロールワークをクラスメイトと演じる
5	5月29日	講義・演習	グループ紙芝居① 課題発表、設定説明	課題練習
6	6月12日	講義・演習	グループ紙芝居② 感情を考えて演じてみる	課題練習
7	6月19日	講義・演習	グループ紙芝居③ 自分たちがしか演じられない表現を考える	課題練習・アイデアを盛り込む
8	6月26日	講義・演習	グループ紙芝居発表(特別講師:渋谷画劇団ヤムちゃん)	ディレクションを受け、改善してみる
9	7月3日	講義・演習	一人で紙芝居① 課題発表、初見での実演	課題練習
10	7月10日	講義・演習	一人で紙芝居② ナレーション部とセリフとの分けをする	課題練習
11	7月17日	講義・演習	一人で紙芝居③ 自身が演じたいキャラクターを考える	課題練習・アイデアを盛り込む
12	7月24日	講義・演習	一人で紙芝居発表(特別講師:渋谷画劇団ヤムちゃん)	ディレクションを受け、改善してみる
13	9月4日	講義・演習	一人で紙芝居発表、振り返り、総括	クラスメイトの発表から自身の演技を振り返る
14	9月18日	講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15	9月25日	講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			課題の読み込みは常に実施	
【使用教科書・教材・参考書】				
課題原稿、筆記用具				

科目名	紙芝居2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中山知佳
学科・コース	メディア＆テクノロジー科 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	2002年より、舞台を中心に活動。2005年声優として活動開始。2014年4月よりアップアンドアップスに所属。2015年より紙芝居師として活動中。						
授業の学習 内容	紙芝居の表現を通して、エンターテイナーとしての基礎を学ぶ。人前に出て表現をすることを学ぶ。						
到達目標	紙芝居を通して、声だけでなく全身を使って表現できるようになる。人前で表現をできるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	クイズ紙芝居、感情解放① お客さんと一緒に演じることを考える	老若男女のお客様に親しんでもらうための表現を考え練習する
2	10月16日	講義・演習	クイズ紙芝居、感情解放② 進行しながら演じることを感じる	老若男女のお客様に親しんでもらうための表現を考え練習する
3	10月23日	講義・演習	グループ紙芝居① チームでの役割分担を考える	課題練習
4	10月30日	講義・演習	グループ紙芝居② チームでの役割分担の中で自分の表現するべきことを考える	課題練習
5	11月6日	講義・演習	グループ紙芝居③ 複数人で同じ作品を演じるグルーブ感を作り出す	課題練習
6	11月13日	講義・演習	グループ紙芝居④ 個性を活かしたパフォーマンスを検討する	課題練習・アイデアを盛り込む
7	11月20日	講義・演習	グループ紙芝居発表(特別講師:渋谷画劇団ヤムちゃん)	ディレクションを受け、改善してみる
8	11月27日	講義・演習	一人で紙芝居① 課題発表、作品について	課題練習
9	12月4日	講義・演習	一人で紙芝居② 演じ分けについて考える	課題練習
10	12月11日	講義・演習	一人で紙芝居③ ひとりで演じるためのエネルギーの配分を考える	課題練習・アイデアを盛り込む
11	12月18日	講義・演習	一人で紙芝居発表(特別講師:渋谷画劇団ヤムちゃん)	ディレクションを受け、改善してみる
12	1月8日	講義・演習	一人で紙芝居発表	課題練習
13	1月15日	講義・演習	一人で紙芝居発表、振り返り、総括	ディレクションを受け、改善してみる
14	1月22日	講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15	2月5日	講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			課題の読み込みは常に実施	
【使用教科書・教材・参考書】				
課題原稿、筆記用具				